

令和8年度第1回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議兼  
地域生活支援全体会議開催結果

<日時>

令和8年5月20日(水) 10時00分～11時50分

<場所>

千歳市民文化センター4階大会議室

<出席者>

委員、関係機関等、千歳市及び事務局 計69名

【委員】23名

青木会長、田口副会長、秋庭委員、大崎委員、大山委員、岡田委員、奥貫委員、影山委員、菊池委員、佐藤委員、清水委員、高橋(洋)委員、立田委員、玉井委員、長澤委員、中野委員、橋本委員、日浦委員、向委員、村田委員、山崎委員、山田委員、結城委員

※欠席(4名)

後藤委員、白畑委員、高橋(和)委員、古田委員

【関係機関等】35名(別紙のとおり)

【千歳市・事務局】11名

(千歳市) 林保健福祉部長、中島保健福祉部次長、小島主幹(基幹相談支援担当)、  
松本児童発達支援センター長、西島自立支援係長、小林発達相談係長  
(事務局) 横井障がい者支援課長(事務局長)、阿部障がい福祉係長(事務局次長)、  
米澤千歳市障がい者基幹相談支援センター長、杉本千歳市障がい者総合支援センター  
長、寺田事業責任者(特定非営利活動法人ちとせの介護医療連携の会 福祉のしごと  
相談支援窓口ちとせケアここ)

<配付資料(別添のとおり)>

4 議題

- (1) 令和8年度千歳市障がい者地域自立支援協議会運営方針
- (2) 令和8年度相談支援体制について
- (3) 各部会活動報告及び令和8年度活動方針
  - ①こども部会
  - ②はたらく部会
  - ③相談支援専門部会
  - ④地域生活専門部会

- ⑤差別解消・虐待防止専門部会
- ⑥手話言語条例推進専門部会
- ⑦コミュニケーション条例推進専門部会
- (4) 市委託事業等に係る令和7年度実績報告・令和8年度事業計画
  - ①千歳市障がい者基幹相談支援センター事業
  - ②千歳市障がい者総合支援センター運営事業
  - ③千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業
  - ④千歳市障がい者就労支援事業
  - ⑤千歳市障がい者地域生活支援拠点等
- (5) 相談支援専門部会の構成機関について
- (6) 千歳市からの連絡・報告
  - ①「にも包括」検討会議の発足
  - ②福祉のしごと相談支援窓口「ちとせケアここ」の開設
  - ③あいサポート運動の導入について
  - ④千歳市日常生活用具給付事業
  - ⑤千歳市障がい者計画・第8期千歳市障がい福祉計画・第4期千歳市障がい児福祉計画の策定
  - ⑥令和8年度千歳市の障がい福祉予算額

## <次第>

### 1 開会

### 2 依頼状交付

職場内での人事異動に伴い一部改選を行った委員(5名)【秋庭委員、立田委員、向委員、橋本委員、中野委員】に対し、依頼状を交付した。

### 3 あいさつ

#### 【千歳市保健福祉部 林部長によるあいさつ】

令和8年度第1回千歳市障がい者地域自立支援協議会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本市においては、本協議会を平成18年度に設置して以来、関係機関の皆さまのご理解とご協力のもと、障がいのある方に対する適切な支援に係る情報共有や、様々な施策を推進していくための体制の整備等について、各部会等で協議を進めていただいているところであり、これまでの皆さまの活動に心から感謝を申し上げます。

本日の協議会は、今年度最初の定例会議でありますことから、地域全体で情報の共有及び協力関係を構築するため、「地域生活支援全体会議」を兼ねて開催しております。お忙しいところ多数の関係機関の皆様にお集りいただき、重ねてお礼を申し上げます。

複合化・複雑化が進む支援のニーズに応えるためには、関係機関の皆さまとの緊密な連携が不

可欠であり、本協議会の果たす役割はますます重要なものになると考えておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、障がいのある方に対する支援体制の整備に当たっては、障害福祉サービス事業所等における安定的な人材確保の実現や人材育成、定着促進が課題の1つとなっております。

本市では、令和8年4月に障害福祉分野に携わる人材の確保のサポートなどを行う「福祉のしごと相談支援窓口 ちとせケアここ」を設置しました。後ほど、担当から詳しく説明させていただきますが、令和8年度は「福祉職の合同入職式の開催」も予定しておりますので、事業所の皆様におかれましては、当該事業を積極的にご活用いただければ幸いです。

また、今年度は、新たな障がい者計画等の策定に当たり、障がいのある方や関係機関の皆さまに、各種アンケートやヒアリングへのご協力をお願いする予定となっております。多種多様なニーズを踏まえた計画とするため、どうぞ忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康と益々のご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

#### 4 議題 <以降青木会長による会議進行となる。>

##### (1) 令和8年度千歳市障がい者地域自立支援協議会運営方針

●阿部事務局次長から「議題(1)」の資料により説明があった。

##### (2) 令和8年度相談支援体制について

●阿部障がい福祉係長から「議題(2)」の資料により説明があるとともに、令和7年度は米澤センター長が障がい者総合支援センターと基幹相談支援センターのセンター長を兼務していたが、令和8年度から、米澤センター長は基幹相談支援センターの専任となり、障がい者総合支援センターに新たに専任の杉本センター長が就任した旨、報告があり、杉本センター長から一言挨拶があった。

##### (3) 各部会活動報告及び令和8年度活動方針

●各部会活動報告に関して、こども部会、はたらく部会、相談支援専門部会、地域生活専門部会、手話言語条例推進専門部会、コミュニケーション条例推進専門部会については、各部会長等から「議題(3)」の各資料により報告があった。

●差別解消・虐待防止専門部会については、大山部会長より、令和7年度の振り返りとして、以下のとおり報告があった。

令和7年7月31日に差別解消班の活動として、苫小牧市のあいサポート運動について学習会を開催し、千歳市への導入検証を行った。また、虐待防止班の活動として、令和8年1月23日にはたらく部会と合同で事業所向けの虐待防止研修を開催し、76名の出席があった。

●令和8年度活動方針については、各部会長等から以下のとおり説明があった。

①こども部会(影山部会長)

関係機関がそれぞれの役割を尊重し、協力し合いながら、千歳市の障がいのある子供たちが安心して過ごせるより良い環境づくりを目指して、引き続き活動していきたい。

②はたらく部会（結城部会長）

グループワーク等を積極的に行い、各事業所との連携を深めていきたい。また、先日、処遇改善加算の制度変更があったが、それに関する研修を行うなど、参加する事業所にとって実りのある活動を企画していきたい。

③相談支援専門部会（奥貫部会長）

各機関の情報共有を大事にしながら事例検討をより積極的に行っていきたい。昨年度は事務局提供の事例が多かったが、部会の構成員の皆様からも積極的に事案を提供いただけるようにしたい。また、基幹相談支援センター開催の人材育成研修への協力等も行い、相談支援事業所同士の連携を深めていきたい。

④地域生活専門部会（米澤センター長 ※高橋部会長欠席）

市内グループホームの運営状況や、支援内容を把握し、基幹相談支援センターのホームページにより詳しい内容を掲載していきたい。また、令和8年4月23日に開催したグループホーム事業者間での情報交換会について、継続開催を希望する声も多く、次回以降の開催について検討したい。こうした顔の見える関係性作りを通じて、連携を強化し、情報交換できる体制を構築し、支援の質の向上や、継続した支援を行える体制を作りたい。また、今後、ハイリスク家庭のリストアップや、緊急時の受け入れ対応が必要と思われる家庭について、部会内で情報共有やケース検討を行い、支援方法を協議しながら、拠点機能事業所と連携し、必要時にスムーズに利用に繋がられるようにしたい。

⑤差別解消・虐待防止専門部会（大山部会長）

あいサポート運動を開始するため市と連携し、障がい特性やサポートのノウハウなどを学ぶあいサポート研修を実施する予定である。同研修におけるボランティア講師の募集を行うため、ぜひ皆様のご協力をお願いしたい。また、昨年度実施した虐待防止研修は、今後は特にグループホームの職員の方が参加しやすいよう、日中の時間帯での開催を予定している。その他に、個別の虐待事案について市からの依頼があった場合には、虐待対応ケース会議を招集し、対応を検討する。

⑥手話言語条例推進専門部会（佐藤部会長）

●佐藤部会長から「議題（3）－⑥」の資料のとおり説明があった。

⑦コミュニケーション条例推進専門部会（田口部会長）

●田口部会長から「議題（3）－⑦」の資料のとおり説明があった。

（4）市委託事業令和7年度実績報告・令和8年度事業計画

①千歳市障がい者基幹相談支援センター事業

●米澤センター長から「議題（4）－①」の資料により報告があった。

②千歳市障がい者総合支援センター運営事業

●杉本センター長から「議題（4）－②」の資料により報告があった。

③千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業

●奥貫センター長から「議題（４）－③」の資料により報告があった。

④千歳市障がい者就労支援事業

●玉井室長から「議題（４）－④」の資料により報告があった。

⑤千歳市障がい者地域生活支援拠点等

●阿部障がい福祉係長から「議題（４）－⑤」の資料により報告があった。

（５）相談支援専門部会の構成機関について

●阿部事務局次長から、「議題（５）」の資料により、市内指定特定相談支援事業者を構成機関とすることについて提案があり、協議会の同意が得られた。その後、事務局が提案した 11 機関について、奥貫部会長から、相談支援専門部会の構成機関として指名された。

（６）千歳市からの連絡・報告

①「にも包括」検討会議の発足

●阿部障がい福祉係長から、「議題（６）－①」の資料により報告があった。

②福祉のしごと相談支援窓口「ちとせケアここ」の開設

●阿部障がい福祉係長から、「議題（６）－②」の資料により報告があった。

●寺田事業責任者から、以下のとおり説明があった。

- ・求職者と事業所のマッチングについては、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネージャー等の有資格者が相談に乗ることができる。
- ・地域の複数の事業所で合同で勉強会等を行うことを検討しており、事業所同士で横の繋がりを構築することで、離職率の低下を図っていきたい。
- ・すでに「ちとせのおしごと万博」等の就職相談会を開催しているところだが、今後もこのようなイベントの開催を検討しているため、事業所の皆様にもご参加いただきたい。
- ・事業所で働く人からの相談も受け付けており、「ちとせケアここ」が第三者として相談に乗ることで、突然の離職の防止や、キャリアプラン構築の一助となればと考えている。
- ・LINE 公式アカウントも開設されており、LINE での相談も受け付けている。
- ・令和 8 年 7 月 16 日開催の「千歳市福祉のしごと合同入職式」について、たくさんのご参加をお待ちしている。

【質疑等（議題（６）－②）】

<A 委員>

各研修やセミナー等は、「ちとせケアここ」側が各事業所に来て開催する形か、それとも、特定の会場で集合形式で開催されるのか。

<寺田事業責任者>

地域の事業所を複数集めて開催し、事業所同士の交流の機会となるような研修としたい。

③あいサポート運動の導入について

- 阿部障がい福祉係長から、「議題（６）－③」の資料により報告があった。

④千歳市日常生活用具給付事業

- 西島自立支援係長から、「議題（６）－④」の資料により報告があった。

【質疑等（議題（６）－④）】

<B 委員>

改正内容については、大変ありがたいものとして受け止めている。日常生活用具については、障がいを持った人や団体から、様々な要望があると思う。市に寄せられた要望の内容や、それに対する市の回答・対応について、共有いただくか、各団体に対して、要望への回答をしていただければと思う。

<横井課長>

団体から寄せられた要望については、団体に対して直接回答しているものもある。本事業の改正は今回が最後というわけではないため、障がいを持った方が日常生活の中で使う道具について、皆様から情報提供があれば、参考とさせていただく。

⑤千歳市障がい者計画・第８期千歳市障がい福祉計画・第４期千歳市障がい児福祉計画の策定

- 阿部障がい福祉係長から、「議題（６）－⑤」の資料により、報告があった。

⑥令和８年度千歳市の障がい福祉予算額

- 阿部障がい福祉係長から、「議題（６）－⑥」の資料により、報告があった。

5 その他

連絡事項なし。議題以外の事項に関して、以下の質疑等があった。

【質疑等（その他）】

<C 委員>

これまでの説明で、緊急性の高い障がい者の受け入れ体制については、整いつつあることが感じられ、ありがたく思う。一方で、時折強い自傷行為に至るような障がい者も多いと思うが、その対応については、各家庭に依存しているのが現状であると感じる。強度行動障害の家族負担の重さや、成人期の支援の空白について、対応を整理していただきたい。

また、障がい者の学校等への移動や住まいの選択肢について、各部会で情報共有ができる仕組みを整えてほしい。加えて、市の福祉関係の部署と、防災関係の部署の連携にも課題があると感じる。各部会、各部署の連携について、体制を整理していただきたい。

<横井課長>

意見として受け止め、今後の参考とさせていただく。

6 閉会

# 令和8年度第1回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議兼地域生活支援全体会議

日時：令和8年5月20日(水) 10時

場所：千歳市民文化センター4階大会議室

## <次 第>

### 1 開会

### 2 依頼状交付

### 3 あいさつ

### 4 議題

(1) 令和8年度千歳市障がい者地域自立支援協議会運営方針

(2) 令和8年度相談支援体制について

(3) 各部会活動報告及び令和8年度活動方針

①こども部会

②はたらく部会

③相談支援専門部会

④地域生活専門部会

⑤差別解消・虐待防止専門部会

⑥手話言語条例推進専門部会

⑦コミュニケーション条例推進専門部会

(4) 市委託事業等に係る令和7年度実績報告・令和8年度事業計画

①千歳市障がい者基幹相談支援センター事業

②千歳市障がい者総合支援センター運営事業

③千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業

④千歳市障がい者就労支援事業

⑤千歳市障がい者地域生活支援拠点等

(5) 相談支援専門部会の構成機関について

(6) 千歳市からの連絡・報告

- ① 「にも包括」検討会議の発足
- ② 福祉のしごと相談支援窓口「ちとせケアここ」の開設
- ③ あいサポート運動の導入について
- ④ 千歳市日常生活用具給付事業
- ⑤ 千歳市障がい者計画・第8期千歳市障がい福祉計画・第4期千歳市障がい児福祉計画の策定
- ⑥ 令和8年度千歳市の障がい福祉予算額

5 その他

6 閉会

千歳市障がい者地域自立支援協議会委員名簿

任期：令和8年10月28日まで

選考区分	No.	所属機関・団体等	委員役職・氏名	第1回 会議 出欠	備考
(1) 公 募	1	公募	日 浦 祐 子	出	
	2	公募	白 畑 あゆみ	欠	
(2) 福祉、保健、医療、 雇用、教育等に知識 及び経験を有する者	3	千歳公共職業安定所	上席職業指導官 村 田 直 也	出	
	4	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室健康推進課	健康支援係長 秋 庭 恵 子	出	新任
	5	医療法人資生会 千歳病院	地域連携室 主任 高 橋 洋 輔	出	
	6	株式会社119INTERNATIONAL	代表取締役 結 城 悟	出	
(3) ア. 障がい者又は障がい 児の家族団体又は支援 団体等	7	千歳身体障害者福祉協会	会長 古 田 聖	欠	
	8	千歳聴力障害者協会	会長 佐 藤 義 典	出	
	9	千歳視覚障害者福祉協会	会長 菊 池 悦 子	出	
	10	千歳市肢体不自由児者父母の会	会長 岡 田 美 智 子	出	
	11	千歳市手をつなぐ育成会	会長 青 木 繁 雄	出	
	12	千歳市つくし会	事務局長 後 藤 邦 子	欠	
イ. 福祉、保健、医療、 雇用、教育等に関する 関係機関又は団体等	13	千歳市民生委員児童委員 連絡協議会	第1地区民生委員児童 委員連絡協議会会長 大 崎 誠	出	
	14	千歳市社会福祉協議会	地域福祉課長 長 澤 利 明	出	
	15	千歳商工会議所	商工振興課長 立 田 京 平	出	新任
	16	北海道千歳高等支援学校	教諭 向 か お り	出	新任
	17	千歳市立北進小中学校	校長 橋 本 好 史	出	新任
	18	北海道南幌養護学校	教諭 中 野 智 貴	出	新任
	19	就労推進室やませみ	室長 玉 井 俊 導	出	
	20	特定非営利活動法人 千歳めいぶるの会	事務局長 高 橋 和 寛	欠	
ウ. 障害福祉サービス事 業所等	21	生活介護ステーションゆみな	管理者 清 水 道 代	出	
	22	就労継続支援B型事業所ゆうび	管理者 山 崎 千 尋	出	
	23	自立訓練施設 蓮げ荘	管理者 大 山 智 昭	出	
	24	児童通所支援センターラプアリス 千歳桜木別館	児童発達支援管理 責任者 影 山 美 樹	出	
	25	共同生活援助事業所いずみ寮	管理者 田 口 幹 子	出	
エ. 相談支援事業所等	26	千歳地域生活支援センター	センター長 奥 貫 あ い 子	出	
	27	千歳市地域包括支援センター	西区地域包括支援セン ター センター長 山 田 綾 香	出	

出席23名  
欠席4名

令和8年度第1回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議兼  
地域生活支援全体会議 関係機関等参加者名簿

No.	機関等名	参加予定者
1	千歳桂病院 地域医療連携室	吉田 圭介
2	向陽台訪問看護ステーション	鷹巣 香織
3	千歳手話の会	神能 直子
4	千歳ひまわり号を走らせる会	樋口 賢治
5	北海道手話通訳問題研究会 千歳・恵庭支部	阿部 幸子
6	日本ALS協会北海道支部千歳支会	澤口 勇治
7	千歳要約筆記の会「やませみ」	打矢 郁子
8	みんなをつなげる会	松隈 早織
9	千歳物流センター	佐々木 賢一
10	メビウス	柳沢 正人
11	就労支援センター Om-net	八十嶋 真美
12	Lifeサポートピアハーブ	猿山 雄二
13	就労継続支援B型事業所スリーピース	青能 弘美
14	NPO法人ハートフルネットワークほほえみ	道場 広美
15	ちとせ24	松山 裕子
16	晴レルモキッチン	吉毛利 尚子
17	株式会社 やさしい介護	今成 光
18	やさしい介護ちとせ	石川 詠介
19	就労継続支援B型 グウタッチ	土谷 美緒
20	クレザ	山口 良子
21	就労継続支援B型事業所 TeCREA千歳	山田 美祐
22	グループホーム TARUO	関根 悠希
23	グループホーム Mano	和島 真奈美
24	計画相談つむぎ	横山 真紀
25	計画相談青空	福田 郁子
26	相談支援事業所らいと	今野 理史
27	ゆいさぼ	中川 広大
28	ぱすてる	山本 友美
29	児童デイサービス 十彩	緑川 知子
30	BLANKET	大和 力
31	ここち	長谷川 聡
32	相談支援 みらいコンパス	木村 正秀
33	ヨツバメイツ千歳	澤村 謙一郎
34	ジョブタス千歳勇舞事業所	長谷川 久美子
35	障がい者相談支援センター夢民	新谷 大樹

出席 35団体

## 4 議題（１）～（６）資料

### 4 議題

- (1) 令和8年度千歳市障がい者地域自立支援協議会運営方針（P1～P7）
- (2) 令和8年度相談支援体制について（P8）
- (3) 各部会活動報告及び令和8年度活動方針
  - ①こども部会（P9～P14）
  - ②はたらく部会（P15～P19）
  - ③相談支援専門部会（P20～P21）
  - ④地域生活専門部会（P22～P23）
  - ⑤差別解消・虐待防止専門部会（資料なし）
  - ⑥手話言語条例推進専門部会（P24～P25）
  - ⑦コミュニケーション条例推進専門部会（P26～P28）
- (4) 市委託事業等に係る令和7年度実績報告・令和8年度事業計画
  - ①千歳市障がい者基幹相談支援センター事業（P29～P34）
  - ②千歳市障がい者総合支援センター運営事業（P35～P41）
  - ③千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業（P42～P45）
  - ④千歳市障がい者就労支援事業（P46～P52）
  - ⑤千歳市障がい者地域生活支援拠点等（P53～P55）
- (5) 相談支援専門部会の構成機関について（P56）
- (6) 千歳市からの連絡・報告
  - ①「にも包括」検討会議の発足（P57）
  - ②福祉のしごと相談支援窓口「ちとせケアここ」の開設（P58）
  - ③あいサポート運動の導入について（P59）
  - ④千歳市日常生活用具給付事業（P60）
  - ⑤千歳市障がい者計画・第8期千歳市障がい福祉計画・第4期千歳市障がい児福祉計画の策定（P61～P63）
  - ⑥令和8年度千歳市の障がい福祉予算額（P64）

## 令和8年度千歳市障がい者地域自立支援協議会運営方針

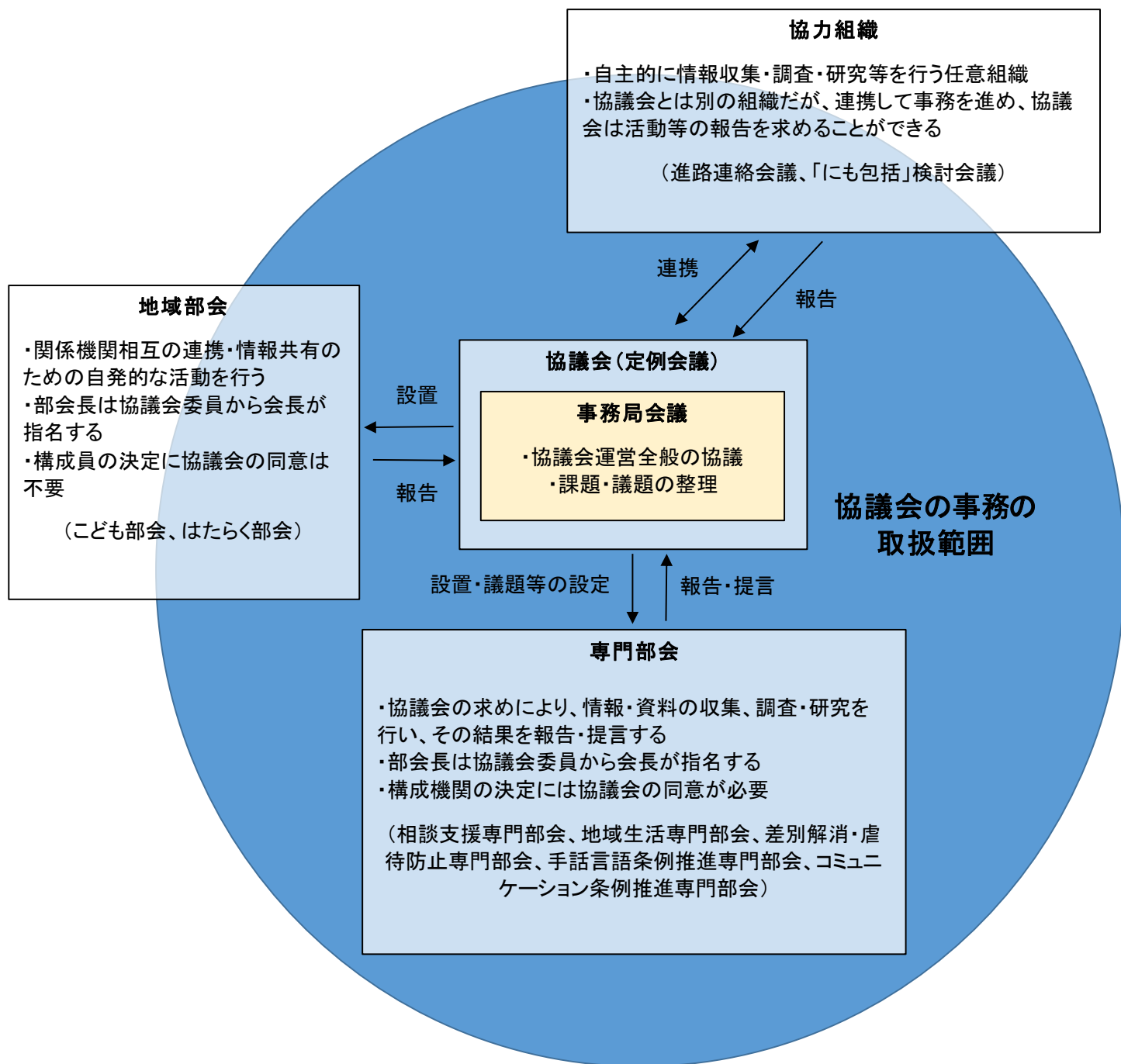
### 1 自立支援協議会の法的根拠

(障害者総合支援法抜粋)

第89条の3 地方公共団体は、単独で又は共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（以下この条において「関係機関等」という。）により構成される協議会（以下この条において単に「協議会」という。）を置くように努めなければならない。

- 2 協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への適切な支援に関する情報及び支援体制に関する課題についての情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。
- 3 協議会は、前項の規定による情報の共有及び協議を行うために必要があると認めるときは、関係機関等に対し、資料又は情報の提供、意見の表明その他必要な協力を求めることができる。
- 4 関係機関等は、前項の規定による求めがあった場合には、これに協力するよう努めるものとする。
- 5 協議会の事務に従事する者又は従事していた者は、正当な理由なしに、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- 6 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

## 2 自立支援協議会の体系



## 3 令和7年度の定例会議 開催実績

回数	開催日	参加者数	各部会活動報告を除く主な議題
第1回	5月23日	58名	基幹相談支援センターの設置、部会構成の変更
第2回	8月21日	33名	地域生活部会から地域生活専門部会への移行
第3回	11月27日	29名	地域生活支援拠点等の整備状況
第4回	2月26日	25名	千歳市障がい者計画等の実施状況

## 4 令和8年度運営方針

### (1) 新体制での活動の充実

本協議会では、障害者総合支援法の改正に伴い、令和6年度から7年度にかけて部会構成の見直しを進めてきたところである。

また、令和8年度は協議会委員改選も予定していることから、協議会委員及び各部会の協力を得て、新体制での活動を充実させ、令和8年度末で計画期間が満了する第7期千歳市障がい福祉計画及び第3期千歳市障がい児福祉計画における成果目標の達成を目指す。

### (2) 協議会の開催について

#### ①定例会議

5月、8月、11月、2月（予定）

#### ②地域生活支援全体会議

必要に応じて定例会議に兼ねて全体会議を開催する（年度当初の協議会は全体会議を兼ねる）。

#### ③見学・傍聴について

- ・定例会議…原則可（個別事例を扱う場合を除く）
  - ・事務局会議…不可（意思形成過程情報）
  - ・地域部会・専門部会・協力組織…個別事例を扱う場合は不可
- ※公開・非公開は、内容に応じて各部会長又は事務局が判断する。

## 千歳市障がい者地域自立支援協議会設置要綱

平成18年5月23日市長決裁

### (設置)

第1条 市内に居住する障害者、障害児等（以下「障害者等」という）への支援の体制の整備を図るため、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第89条の3第1項の規定に基づき、福祉、保健、医療、雇用及び教育に関する関係機関、関係団体、関係事業者等による連携及び支援体制に関する協議を行い、障害者等の福祉施策及び地域生活支援を総合的かつ効果的に推進することを目的に千歳市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議し、その結果を市長へ報告する。

- (1) 障害者等の福祉に関する情報等の共有に関すること。
- (2) 地域課題、困難事例等への対応及び支援に関すること。
- (3) 地域の関係機関等相互の連携及び地域社会との良好な関係構築に関すること。
- (4) 地域の社会資源の改善及び開発に関すること。
- (5) 障害者等のケアマネジメントに関すること。
- (6) 相談支援事業者の中立・公平性の確保及び評価に関すること。
- (7) 障害者等の権利擁護に関すること。
- (8) 千歳市障がい者計画及び千歳市障がい福祉計画並びに千歳市障がい児福祉計画に関すること。
- (9) その他障害者等の地域生活支援に関すること。

2 協議会は、協議会で合意された事項について、市長、関係機関等へ提言することができる。

### (委員)

第3条 協議会は、委員27人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が依頼する。

- (1) 市内に居住する障害者等及びその家族等
- (2) 福祉、保健、医療、雇用、教育等に知識及び経験を有する者
- (3) 市内に居住し、又は通勤若しくは通所する者であって、次に掲げる関係機関等の代表者又は関係機関等から推薦を受けたもの
  - ア 障害者等の家族団体、支援団体等
  - イ 福祉、保健、医療、雇用、教育等に関する機関、団体等
  - ウ 障害福祉サービス事業所等
  - エ 相談支援事業所等
  - オ 地域生活支援事業所等
- (4) 市長が別に定めるところにより公募で選考した者
- (5) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員に対する報酬は、支給しない。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長が欠けたとき、又は会長に事故あるときは、その職務を代理する。

4 会長は、協議会を定例的又は必要に応じ臨時に招集し、会議の議長となる。

5 会長は、会長の招集する会議に必要な応じ委員以外の出席を求め、その意見若しくは説明を聞き、又は資料の提出を求めることができる。

(事務局会議)

第5条 協議会に、所掌事項の取扱い及び運営に関する調整を行うため、事務局会議を置く。

2 事務局会議は、委員のうちから会長が指名する運営委員並びに事務局長及び事務局次長で構成する。

3 事務局会議に座長を置き、事務局長を充てる。

4 座長は、事務局会議を必要に応じて招集し、会議の議長となる。

5 事務局会議は、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(専門部会)

第6条 協議会は、協議会の所掌事項のうち重要事項について、協議会の求めに応じて、必要な情報及び資料の収集、調査、研究等を行うため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会に部会長及び副部会長を置く。

3 部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 副部会長は、部会長が指名し、部会長に事故あるときは、その職務を代理する。

5 専門部会の構成員又は構成機関は、協議会の同意を得て、部会長が指名する。

6 部会長は、専門部会を必要に応じて招集し、会議の議長となる。

7 部会長は、調査研究等の経過及び成果を協議会へ報告しなければならない。

(地域部会)

第7条 協議会は、分野ごとに地域の関係機関等相互の連携及び障害者等の福祉に関する情報等の共有を図るため、地域部会を置くことができる。

2 地域部会に部会長を置く。

3 部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 部会長は、分野に関係する事業者や団体等を招集することができる。

5 部会長は、地域部会の活動内容を協議会へ報告しなければならない。

(協力組織)

第8条 協議会は、自主的に所掌事項に関する情報及び資料収集、調査、研究等を行うため、事業種別又は支援目的別に関係機関等が参加する任意の組織を協力組織とすることができる。

- 2 協議会は、協力組織との連携に努めなければならない。
- 3 協議会は、協力組織代表者に出席を求め、調査研究等の成果について報告若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(全体会)

第9条 協議会は、地域で所掌事項に関する情報の共有化及び協力関係を構築するため、定例の協議会に兼ねて、地域生活支援全体会議（以下「全体会」という。）を開催することができる。

- 2 全体会には、委員のほか、市内の第3条第2項第3号に掲げる関係機関等のうちすべての機関等の招集に努めるものとする。

(事務局)

第10条 事務局は、千歳市保健福祉部障がい者支援課に置き、協議会の庶務を行う。

- 2 千歳市障がい者基幹相談支援センターは、協議会の運営等に関し、事務局を補佐する。
- 3 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、事務局長は障がい者支援課長をもって充て、事務局次長は障がい者支援課障がい福祉係長及び障がい者基幹相談支援センター長をもって充てる。

(守秘義務)

第11条 協議会の事務に関係する者又は関係していた者は、正当な理由なしに、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成18年5月23日から施行する。

附 則（平成22年7月1日）

この要綱は、平成22年7月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日）

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年4月1日）

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年5月29日）

この要綱は、平成25年5月29日から施行する。

附 則（平成30年4月1日）

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和4年7月29日）

この要綱は、令和4年7月29日から施行する。

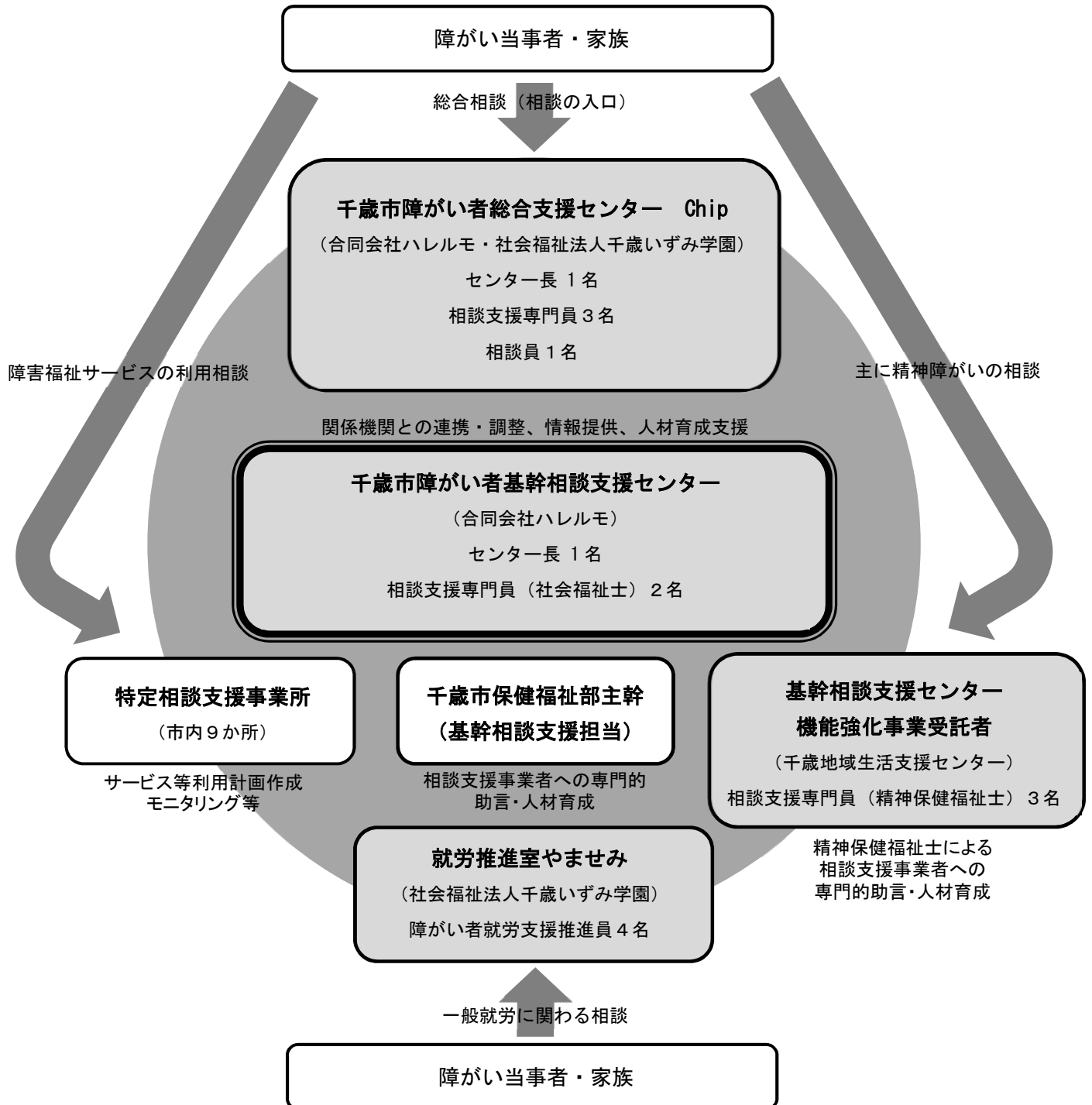
附 則（令和4年10月25日）

この要綱は、令和4年10月25日から施行する。

附 則（令和 6 年 2 月 22 日市長決裁（保健福祉部長専決））  
この要綱は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 7 年 3 月 5 日市長決裁（保健福祉部長専決））  
この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

## 令和8年度 相談支援体制について



令和7年度 第6回 こども部会 報告	
日 時	令和8年2月12日(木) 10:00~11:10
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	ラブアリス千歳桜木別館(影山氏(部会長)・大久保氏)、ちとせ児童発達支援センター(和野氏)、十彩(緑川氏・)、にじいろひろばちとせ(沢井氏)、ブランケット(加藤氏)、ONESMILE千歳(長谷部氏)、デイジーハウス(若松氏)、RASA(大園氏)、ここち(長谷川氏・佐竹氏)、ほーむアスト(豊川氏・赤石氏)、ゆめラボ千歳信濃教室(松村氏・竹村氏)、BambleGYM(竹樋氏)、千歳市こども発達相談室はぐ(渡辺氏)、千歳市こども相談支援室あーち(宮坂氏)、計画相談つむぎ(横山氏)、相談支援事業所らいと(早川氏)、南幌養護学校(濱野氏)、千歳市立北進小中学校(新保氏)、千歳高等支援学校(亀田氏)、千歳市児童発達支援センター(小林氏(副部会長))、障がい者支援課(西島氏)、千歳市障がい者地域自立支援協議会公募委員(日浦氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(館山氏)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和7年度活動報告・振り返り</li> <li>2. 情報提供・課題共有</li> <li>3. グループワーク</li> <li>4. その他</li> </ol>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和7年度活動報告・振り返り <p>今年度は2か月に1回定例会議を開催し、行事として講師を招き『7つの感覚がわかると変わる子どもへの関わり方』をテーマにした支援者勉強会を開催。また、支援者を対象とした学校見学会、はたらく部会と共催で実施した事業所説明会、保護者を対象とした情報交換会(座談会)を行った。定例会議では参加者同士の交流や情報交換を目的としてグループワークを行い、事業所内での困りごとや事例を通して支援の手立てについての意見交換をし、各機関の関係性構築や連携強化を図った。</p> <p>グループワークの時間で部会メンバーから今年度の活動反省や次年度に向けて感想・意見を出し合っている。</p> </li> <li>2. 情報提供・課題共有 <p>【課題共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳市内の移動支援や行動援護の利用について質問があり現状を確認。千歳市の移動支援事業は通勤・通学等で定期的な利用となるケースは原則認められない。利用しているケースでは学校下校後に児童館や公園で遊んでいる場面の見守りや散歩、余暇活動の支援を行っている。児童対応可能な移動支援の事業所は現状一か所のみとなっており、ニーズはあるがヘルパーの人員不足により利用できていなかったり、移動方法も検討しなければならない場合が多い。成人は対応するが</li> </ul> </li> </ol>

児童は対応できない事業所ばかりであり、支給決定があっても利用できていない現状が課題となっている

#### 【情報提供】

- ・ゆめラボ千歳信濃教室より、『発達お悩みちょこっと相談フェスタ』開催の案内。令和8年2月23日(月)15時～17時半。相談時間は各回30分、要予約制。「ちっと気になる」「様子見ていいかな？」気になった『今』が相談どき。いろいろなお悩みに『身体・心・ことば・くらし』の専門家が、おこたえます、との内容。
- ・ラブアリス千歳桜木より事業所の行事について情報提供。(親子で遊ぼう『豊かに生きるための性教育』『親子で学ぶお金の学校』)
- ・千歳市児童発達支援センターより、発達が気になる子どもを持つ保護者を対象とした『保護者交流の場』について、今年度3回目の開催について案内。また、1月から開始した事業所向け巡回支援について報告。1月は2事業所に訪問し、子どもへの関わり方を一緒に考えたり、未満児の遊びに関する支援や言葉を促す関わり、体幹のトレーニングの取り組み方について事業所へ伝えている。今後も子どもの楽しい遊びや放課後の過ごし方としての取り組み方を一緒に考えていきたいとの案内。

また、電子連絡帳の活用について、保護者同意の上で関係機関で情報共有をしたり、計画書の共有ができるよう取り組んでいく予定であり、登録する事業所を増やしていきたいと説明があった。

### 3. グループワーク

今年度の活動反省と次年度に向けて、また、移動の支援に関する地域課題について意見交換を行った。以下、グループワークで出た意見。

- ・事業所説明会では将来の就労についても情報を得ることができたり、就労体験ブースがあって良かった。作業を体験できる機会があるのはありがたい。
- ・学校見学会は利用している子がいなくても色々な学校の様子を見て学校情報を把握できると良い。各学校で行っている学校公開日については中々情報が入ってこないの分かりやすい周知があると良いのではと感じた。
- ・情報交換会(座談会)は保護者同士が交流したり、情報収集できる場として良い機会なので継続してほしい。
- ・移動支援については、移動距離の負担や送迎手段の不足が課題と感じられる。介護タクシーの活用や送迎効率の見直しなど、工夫した方法も柔軟に考えていく必要があるのではないか。

### 4. その他

	次年度の開催については事務局よりあらためて連絡する。
作 成 者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

平成8年度 第1回 こども部会 報告	
日 時	平成8年4月30日(木) 10:00~12:00
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	ぱすてる(山本氏)、ライフヘルスちとせ(熊谷氏)、ちとせ児童発達支援センターはる(村田氏)、ラブアリス千歳桜木(田辺氏)、ラブアリス千歳桜木別館(影山氏[部会長]・後藤氏)、児童デイサービス十彩(緑川氏・菊地氏)第二ちとせくらぶ(山崎氏)、フェアリーみどり台(浅野氏・辻口氏)、子ども通所支援センター にじいろひろばちとせ(大和氏)、BLANKET(ブランケット)(加藤氏)、レイデイ(若松氏)、RASA(大園氏)、ここち(長谷川氏・佐竹氏)、ほーむアスト(豊川氏・赤石氏)、Chouchou 千歳(桜庭氏)、ゆめラボ千歳信濃教室(松村氏)、Bamble GYM千歳(竹樋氏)、ぱれっと(山口氏・當房氏)、千歳市子ども発達相談室はぐ(赤坂氏)、千歳市子ども相談支援室あーち(宮坂氏・高山氏・高橋氏)、計画相談つむぎ(横山氏)、相談支援事業所らいと(今野氏・早川氏)、ゆいさぼ(中川氏)、相談支援みらいコンパス(木村氏)、千歳市立北進小中学校(橋本氏)、北海道千歳高等支援学校(中西氏)、千歳市児童発達支援センター(小林氏[副部会長])、千歳市教育委員会教育部学校教育課(池田氏)、千歳市こども福祉部こども家庭課(苫米地氏)、千歳市こども福祉部児童施設課学童・児童館係(狩野氏)、千歳市保健福祉部障がい者支援課(西島氏)、千歳市障がい者地域自立支援協議会公募委員(白畑氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(杉本・根本)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介</li> <li>2. 今年度の活動について</li> <li>3. 情報提供・課題共有について</li> <li>4. その他</li> </ol>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介 新年度となり参加者の変更もあるため、各機関自己紹介を行う。</li> <li>2. 今年度の活動について 今年度の活動予定について確認。2か月に1回の定例会に加え、情報交換会、学校見学会、支援者勉強会を実施する計画である。1月の支援者勉強会については、部会メンバーから意見を聞くなどして内容を決定していきたい。また、はたらく部会共催の事業所説明会については、はたらく部会と調整しながら進めていきたい。</li> <li>3. 情報提供・課題共有について 【情報提供】</li> </ol>

(1)ゆめラボ千歳信濃教室～企業連携ふちゼミ「こころとからだを育む親子遊び」6月2日(火) ほくおう児童館 定員10名

(2)千歳市児童発達支援センターから

①センター長から(自己紹介内で周知)

・インクルーシブ公園に関するアンケート協力のお願について。建設部都市整備課から依頼を受けてのお願い。市民病院横の北光公園をインクルーシブ公園として位置づけ遊具をリニューアル予定。支援者の意見をアンケートにて回答お願いしたい。

②令和8年度センター事業について

・行事一覧について、4月10日遊びの広場いろいろは、気軽に参加できるように考えている。  
・就学学習会①～③については、保護者向けで対面実施だが、支援者はオンライン参加可能とする。  
・保護者交流の場は保護者が自由に話せる場として、ペアレントメンターのお話も聞けるようにしたい。  
・6月23日のペアレントプログラムは、一般公募で保護者支援目的。支援者は見学も可能とし、メールで周知をしていきたい。  
・歯科検診は児童を対象として、通所支援も利用可能。

③事業所巡回支援について

・事業所スタッフの困りごとに対応、言葉と遊びなど5月にあらためてメールで周知していきたい。

④こどもの発達と支援の記録ファイルについて

・通称「支援ファイル」は、昨年よりスタートした。小中学校間の連携資料として、また、スムーズに機能するようコーディネーター研修会等で学習するとともに周知していきたい。

(3)ちとせの介護医療連携の会から「ちとせケアここ」について

・福祉の仕事に関わる相談窓口を開設した。障がい分野と介護分野の従事者向けの相談支援が主な内容。ケアマネや福祉人材の定着率を上げていくとともに、チームワーク育成など地域の人材育成をしていきたい。事業所単体での相談窓口は難しさがあ、公式ラインやチャットはプライバシーが守れる。また、ホームページで求人票をアップする仕組みも作っている。気軽に相談してほしい。

#### 【課題共有】

(1)各事業所の避難訓練及び防災対策の状況はどうなっているか。先日地震後に「今日の支援あります」等の連絡はしたのか。現状はどうなのか。事業所に戻ったら確認してほしい。また、個別の避難計画はあるのか教えてほしい。

	<p>→ (千歳市児童発達支援センター) 最近の地震では建物の確認を実施し、避難訓練どおりに職員が支援中の部屋の確認・報告をすることができた。医療的ケア児に対しては、個別避難計画未作成であることが課題であり、関係機関と連携し取り組んでいきたい。</p> <p><b>4. グループワーク</b></p> <p>上記の課題共有の内容を受けて、各所の避難訓練及び防災対策の状況について共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火訓練実施前に動画で学習機会を設けている。</li> <li>・ 食品、救急セット等を準備、定期的に賞味期限を確認している。</li> <li>・ 歩くのが難しい子は抱っこしながら避難している。パニックになる子もいる。アラームで本番と同じように実施している。</li> <li>・ 震度によって対応が変わる。一人ひとりに対応できるように訓練、パターンを変えて訓練している。</li> <li>・ 震度5以上は家庭に連絡し、どのようにしていくか決めていく。</li> <li>・ 2～3か月に1回実施、震度4以上になったら連絡し迎えに来てもらう。迎えに来ることができない家庭は送迎をしている。</li> <li>・ 個別の避難計画は早急に作成する必要がある。</li> <li>・ 雪害時、近い職員が出勤して全体に連絡している。状況によって動き方が変わると思う。雪のため送迎で困ることはある。</li> <li>・ 内部研修、避難訓練行っている。子どもがいる中での訓練が大切。</li> <li>・ 雪害は経験を通して困り感がある。通勤できなくても利用者に連絡できるように考えている。携帯から室内を見れるようにしているので被害は見る事が可能。責任者が千歳に住んでいないところは、マニュアル+αで構築しようと思っている。</li> <li>・ 保護者に連絡、職員側が避難訓練を実施する形になる。医療的ケア児、車椅子児への対応は考えている。新人職員が春に着任したら早い段階で伝えている。</li> <li>・ 冬期の夕方等に大きな災害が来たら凍死者も。まずは事業所での待機が必要。毎月の災害伝言板、火災報知器の整備が大切。</li> <li>・ 個別避難計画→事業所内だけでも個々に合わせた計画を立てることが理想。千歳市として共通のひな形やリストがあると助かる。</li> </ul> <p><b>5. その他</b></p> <p>次回開催～6月24日(水)千歳市総合福祉センター402号室</p>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度 はたらく部会 視察研修 報告	
日 時	令和8年2月10日(火) 12:30~15:25
場 所	市民活動プラザ星園 中会議室 札幌市中央区南8条西2丁目5-74
参 加 者	16名(敬称略) 就労継続支援事業所エコ・ファクトリー(結城(部会長))、株式会社ひまわりの会(高山)、ウィンドバレー(鷺見)、マルハチ急行株式会社福祉事業部サークルエイト(三上)、一般社団法人 TARUO(鈴木・三上)、帆の風(藤岡)、コラボワーク(大山)、TeCREA 千歳(山田美)、北海少年院(丹羽、高瀬)、北海道社会福祉協議会(大泉)、千歳市保健福祉部障がい者支援課(伊藤)、就労推進室やませみ(野田・山田加・木場)
要 旨	「これからの就労支援はどこへ向かうか」 制度開始から20年、多様化する働き方と支援の在り方を再考する 1. これまでに行われている就労支援事例 2. パネルディスカッション
内 容	1. これまでに行われている就労支援事例 (1)食品系自主事業 (株)119 INTERNATIONAL 結城 様より A型事業所 お弁当製造盛り付け配送販売。 B型事業所 清掃、農福連携。 仕事とは支え合う事を目的とし、他人のために働き「ありがとう」という感謝の言葉をもらえる事、つまり支え合う「支事づくり(しごとづくり)」をテーマに全力で活動。 (2)自主農業(農福連携・養鶏) 一般社団法人 Agricola 水野 様より A型事業所 当別町で園芸用のビニールハウス8棟と木造放し飼い鶏舎で鶏約6,000羽を平飼いし、平飼い卵の生産および販売を行う。生卵独特の臭みをなくするために魚粉の使用を最小限に抑え、北海道産原料にこだわった自家配合飼料を餌に用いる特徴的な取り組みをしている。 (3)自主事業・受託事業混合 株式会社 株式会社 dispo. 三上 様より B型事業所 事業所内軽作業 箱折・ホテルアメニティ、くせ折り・シールはり・検品・梱包など 調理補助・デザイン・イラスト 施設外就労について※限られた地域ではあるが次の作業を行っている。 青果販売店・野菜袋詰め、客会計、出納品作業・マンション清掃・コピー機初期設定(ねじ外し、部品装着、梱包作業)・食肉加工場骨肉のカット、計量袋入れ出荷・焼き鶏の串うち・イベント出店サポート・調理・接客・メニューデザインのほか、町内会商店街活動、地域交流を積極的に行う。 (4)受託事業(施設外就労・農業)株式会社 ジョブロジック 原田 様より A型事業所 施設外就労が主な事業。雇用契約を結び、周りからのサポートを受けながら働けるサービス。提携先一般企業(食品工場や物流センターなど)で、当事業所のスタッフと一緒に働ける。(当事者の就労レベルに応じて仕事内容が変わることもある) (5)クリエイティブ・IT系事業 株式会社 Career Ways 平井 様より

	<p>B 型事業所 IT スキルに特化した事業所運営。パソコンの使い方から Web デザイン、プログラミングなどパソコンでの仕事を中心とした支援。 利用者自身の体調に合わせて働くことができ、それぞれのペースで社会参加や就労活動のサポート。</p> <p>(6)株式会社ハートフル@flower 札幌 山口 様より</p> <p>A 型・就労移行事業所 札幌初の女性専用就労移行支援、就労継続支援 A 型の多機能事業所。 花それぞれの色や形は個性であるように、わたしたちも一人一人の個性があり、そんな皆さんの個性を守り、活かせるサポートを行う。 主にデータ入力、資格取得サポート等。</p> <p><b>2. パネルディスカッション</b></p> <p>(1)これからの就労支援の在り方について 衣食住、高齢者、インバウンド向けサポート・3Dプリンター活用アクセサリ制作・AI活用等の声があった。</p> <p>(2)既存制度で困っていること 生産活動から工賃を生み出す仕組みは福祉なのに資本主義的、この考え方はどうか、居場所の提供も大切ではないかななどの声があった。 また、利用期間1年となっている事業所があるが1年を超える利用希望がある場合はどう対応しているかと質問。期間を超える場合は別事業所への引継ぎを丁寧に行い対応すると回答があった。</p> <p><b>まとめ</b> 大都市札幌という土地柄、人口の多さが関係していることもあり多種多様な作業、業態があった。今後は今回の研修事例を参考に就労支援に生かせればと思う。</p>
作成者	就労推進室やませみ 山田 加代子

令和7年度 第6回 はたらく部会 報告	
日 時	令和8年3月13日(金) 18:00~19:00
場 所	千歳市北新コミュニティセンター4号室(千歳市新富2丁目1-21)
参 加 者	27名(敬称略) 【福祉】就労継続支援事業所エコ・ファクトリー(結城(部会長))、千歳市障がい者基幹相談支援センター(中村)千歳市障がい者総合支援センターchip(杉本・相澤・福田)社会福祉法人せらび千歳地域生活支援センター(今野辰)、社会福祉法人千歳いずみ学園いずみワークセンター(新川・高浜)、有限会社 優美(山崎)、株式会社帆の風(藤岡・箕崎)、株式会社ウィンドバレー(千葉)、ゼットアクション(奥田)、株式会社ドンリースアンドレンタル千歳物流センター(佐々木)、マルハチ急行株式会社福祉事業部サークルエイト(三上真)、サポートセンターユリーカ/リエラ(芦田)、社会福祉法人せらび就労支援センターOm-net(八十嶋)、健心サポート(上島)、合同会社コラボワーク(大山)、でじるみ千歳(日下部) 【一般】訪問看護ステーション CISE(伊東) 【団体】北海道社会福祉協議会(大泉) 【学校】千歳高等支援学校(向) 【行政】北海少年院(太田)、千歳市保健福祉部障がい支援課(阿部) 【事務局】千歳いずみ学園就労推進室やませみ(野田・山田)
要 旨	1. 開会 2. 令和7年度 視察研修振り返り 3. 令和7年度 Youmy 市場について 4. その他 5. 閉会
	1. 開会 2. 視察研修について(振り返り) (1)開催日時 令和8年2月10日(火)12時30分~15時40分 (2)場所 市民活動プラザ星園 中会議室 札幌市中央区南8条西2丁目5-74 (3)参加人数 24名(札幌市就労事業所関係者8名 千歳市就労事業所関係者16名) (4)内容 千歳市と札幌市の就労継続支援事業に関わる事業者間でのサービス提供の実際について意見交換を通じ障がいのある方の就労に関わるサービスの質の向上を図る(目的ため札幌市内6事業所の事例紹介を行う。 ①食品系自主所業(株)119 INTERNATIONAL 結城氏 ②自主農業(農福連携・養鶏)一般社団法人Agricola 水野氏 ③自主事業・受託事業混合 株式会社dispo. 三上氏 ④受託事業(施設外就労・農業)株式会社 ジョブロジック 原田氏 ⑤クリエイティブ・IT系事業 株式会社Career Ways 平井氏 ⑥株式会社ハートフル@flower 札幌 山口氏 当日は各代表者より作業活動内容など説明があった。  参加者からの感想、今後の在り方について ・技術の進歩もありAI, IT、3Dプリンターを使い生産活動(多種多様な活動)  札幌は人口も多い為多種多様な活動がある。千歳でも参考にして事業所活動を検討。 可能であれば千歳に来てもらう、オンラインでの交流・情報共有の場を設けたい。 3. 令和7年 Youmy 市場について (1)【開催日時】令和8年3月28日(土)10時00分~14時00分 【開催場所】ちとせモール1階センター広場(千歳市勇舞8丁目1-1)

	<p><b>【事前準備（ブース設営など）】</b></p> <p>(2) 事前準備（ブース設営など）について</p> <p>①令和 8 年 3 月 27 日(金) 13 時 00 分～  ※ブースの設営のみ。(販売品やパンフレット、什器の設置は当日)</p> <p>②令和 8 年 3 月 28 日(土) 9 時 00 分～ 9 時 50 分</p> <p>(3) 千歳モール利用について店舗側からの要望(注意点など)を説明</p> <p>(4) チラシ配布方法確認(店舗横宝くじ売り場近辺) 利用者、職員で配布(ボランティア)。</p> <p><b>4. その他</b></p> <p>新年度も部会活動は実行委員会を中心に行い新年度より実行委員再編成する。再編成について4月中旬を目処にやませみより案内。5月に委員会実施予定。</p> <p>新年度からの活動案として参加者から下記の通り提案があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の困り事を定例会で取り上げグループワーク</li> <li>・サーモンパーク(千歳道の駅)で物販、農福連携収穫品販売</li> <li>・虐待防止について(利用者と職員の関わり方、接し方について事例検討会)</li> <li>・合同で防災 BCP 関連の活動や勉強会</li> <li>・SST(ソーシャルスキルトレーニング)</li> <li>・千歳市防災学習交流センターそなえーる利用震度体験</li> </ul> <p><b>5. 閉会</b></p>
	<p>就労推進室やませみ 山田 加代子</p>

令和7年度 はたらく部会 合同説明会 (Youmy 市場) 報告	
日 時	令和8年3月28日(土) 10:00~14:00
場 所	ちとせモール1階センター広場 (千歳市勇舞8丁目1-1)
参 加 者	42名(敬称略) 株式会社119 インターナショナルエコ・ファクトリー(結城(部会長))、就労移行支援事業所ゆうび(山崎・蔵田)、いずみワークセンター(新川・石谷・橋口・林)、メビウス(柳沢・藤原)、株式会社ウインドバレー(千葉・鷺見)、株式会社帆の風(藤岡・細井・小林・鈴木)、ゼットアクション(奥田・樋口)、株式会社ドンリースアンドレンタル千歳物流センター(佐々木・石川)、マルハチ急行株式会社福祉事業部サークルエイト(青木・柳井)、社会福祉法人せらび就労支援センターOm-net(八十嶋・種田・伊藤・川本)、サポートセンターユリーカ(芦田・鎌田)、晴レルモキッチン(吉毛利)、ラポールハウスチトセ(松本・斎藤・川東・橋高)、健心サポート(上島・伊野・本地・中村・大井・萩野)、合同会社コラボワーク(大山静・大山優)、【事務局】千歳いずみ学園就労推進室やませみ(野田・木場)
要 旨	<b>1. 開会</b> <b>2. 千歳市内就労系福祉事業所物販</b> (1)目的 (2)実施方法 (3)当日の状況・参加者の感想 <b>3. 閉会</b>
内 容	<b>1. 開会</b> <b>2. 千歳市内就労系福祉事業所物販</b> (1)目的 千歳市内や近郊に住む障がいのある人やその家族や友人、また地域の人々を対象に福祉事業所の存在や活動内容、物販を通して事業所の情報を提供するなど福祉資源の発信を行う。 <b>(2)実施方法</b> 物販を希望した千歳市内の就労系事業所による物販会。 近郊の特別支援学校、相談事業所へ案内文の送付。SNS等を利用し、情報発信を行った。 <b>(3)当日の状況</b> 10:00~14:00までの間で来場者数は約80名。 就労系事業所による物販を実施。通りがかり立ち寄ってくれた方なども多く、昨年度よりも多くの方が商品を手に取り購入してくれた。 また、今年度は昨年度に比べ事業所の利用者が多く販売会に参加してくれ、実際に制作した商品を自身の手で販売することが出来嬉しそうな姿が印象的だった。利用者より、「良い経験になりました。」「機会があればまた参加したいです。」「楽しかったです。また販売会したいです。」「いらっしやいませ、ありがとうございますと言えました。」と様々な感想を聞くことができた。 昨年度より Youmy 市場の認知度が上がってきたと実感することができた1日だった。 <b>3. 閉会</b>
	就労推進室やませみ 木場 茉椰

令和7年度 第6回 相談支援専門部会 報告	
日 時	令和8年3月3日(火) 15:30~17:00
場 所	千歳市社会福祉協議会 会議室2・3
参 加 者	千歳地域生活支援センター(奥貫部会長)、計画相談つむぎ(横山副部会長)、障がい者支援課(小島氏)、東区地域包括支援センター(内藤氏)、千歳北星病院(水梨氏)、相談支援事業所らいと(今野氏)、こども相談支援室あーち(吉田氏)、計画相談青空(吉田氏)、夢民(越後氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(福田氏)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村) オブザーバー: 相談事業所ゆいさぼ(中川氏)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報共有(各機関の相談傾向)</li> <li>2. 令和7年度第4回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議報告</li> <li>3. 令和7年度活動振り返り、令和8年度活動について</li> <li>4. その他</li> </ol>
会 議 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報共有(各機関の相談傾向)</li> </ol> <p><b>【医療機関】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間は骨折の患者が多いが、救急で受け入れきれず札幌の病院を探すこともあった。市内の救急対応受け入れについて課題がある。</li> </ul> <p><b>【広域相談支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定調査員研修について、次年度から形式が変わる可能性がある。</li> </ul> <p><b>【高齢】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に困窮しているケースや、金銭をめぐる揉めているご家族への対応などが続いている。</li> </ul> <p><b>【障がい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8050に関わるケースで虐待が疑われるケースに対応している。</li> <li>・食料支援など生活困窮に関わるケースがあった。</li> <li>・転入先で、認定こども園等が見つからないという報告があった。</li> <li>・進路連絡会議後、通信制高校等に在籍する生徒の進路に関わる相談。</li> <li>・千歳市内だけでなく札幌の病院からの退院に向けた調整の相談が続いている。</li> <li>・ギャンブル等で債務を抱えたケースに対応している。</li> <li>・冬期間に転倒による骨折の報告が多くあった。</li> <li>・親の介護保険と併せ、子どもの障がい福祉サービスで居宅ヘルパーを開始したケースがあった</li> <li>・委託相談からの引継で順次、計画相談に移行している</li> <li>・サービスに繋がらず、基本相談で対応するケースも引き続きある</li> </ul> <p><b>【行政】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護等を利用する予定の方の区分の認定調査が数件続いた</li> </ul>

	<p>2. 令和7年度第4回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議報告 行政より定例会議の要点について説明があり、その後各所から感想や意見などがあげられた</p> <p>3. 令和7年度活動振り返り、令和8年度活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を振り返っての感想など意見交換を行った</li> <li>・事例検討（計4回）について振り返りを行い、次年度どのような形式で実施していくのが良いかなど意見を出し合った</li> </ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の開催予定について 出席できる方の多い日取り・曜日の設定について検討し、事務局で取りまとめることとした</li> </ul>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和8年度 地域生活専門部会 共同生活援助事業者情報交換会 報告	
日時	令和8年4月23日(木) 13:30~15:00
場所	千歳市総合福祉センター3階和室302号室
参加者	ぐろーあっぷまくあけ千歳(稲葉氏、川崎氏、鈴木氏)、共生型ケアホームやさしい介護ちとせ(今成氏、石川氏)、GHラウレア(柳沢氏)、いずみ寮(田中氏)、株式会社TARUO(前田氏、関根氏)、グループホームMano(輪島氏)、グループホームbee(山崎氏)、共同生活援助モンレーヴ(菊池氏、佐藤氏)、蓮げ荘(大山氏)、優友ハウス(結城氏)、ヨツバメイツ千歳(中村氏)、めいぷるハウス(高橋部会長)、千歳地域生活支援センター(奥貫氏)、計画相談つむぎ(横山氏)、千歳市障がい者支援課(西島係長)、千歳市障がい者総合支援センターChip(杉本・福田)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会長より</li> <li>2. ちとせの介護医療連携の会より</li> <li>3. 情報交換会</li> <li>4. その他</li> </ol>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会長より挨拶(高橋部会長) 千歳市では大きな災害が発生し、グループホームも被害を受け障がいのある方々の生活の場がなくなってしまうような場合は、被災を免れたグループホームの居室を提供するなど、融通を利かせたり協力することによって、障がいのある方を支援することを考えている。 現在、千歳市内には14の事業所により38か所のグループホームが開設、運営されているが、なかなかお互いの顔が見られない、様子が確認できないといった状況ではないかと考え、本日の情報交換会を開催させていただくこととなった。日ごろからお持ちになられている課題などを共有し、明日からの業務に生かしていただきたい。</li> <li>2. ちとせの介護医療連携の会より(NPO 法人ちとせの介護医療連携の会 寺田氏) これまで担ってきた介護・医療の人材不足の確保に加え、4月より千歳市の委託を受けて、障がい福祉の人材確保、育成、定着支援を行う「福祉のしごと相談窓口ちとせケアここ」事業が始まった。今後ぜひ活用してほしい。</li> <li>3. 情報交換会 3つのグループに分かれて、自己紹介やGHの特色、利用者への対応の困り感、事業所の体制等での困り感や工夫している点などの情報交換を行った。内容としては、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者同士の相性や男女間トラブルがある。職員が不在時のトラブルが</li> </ul> </li> </ol>

	<p>あった時の対応について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動があり、ひとりで外出させられない方がいる。</li> <li>・金銭管理の説明が理解できずトラブルとなる方がいる。</li> <li>・利用者の高齢化が進み、建物がバリアフリー未対応なため生活に支障が生じていることが課題となっている。</li> <li>・夜勤体制の調整が難しく人員体制がギリギリである。ダブルワークしている職員が多く急な休みがあった時の調整が難しい。タイミー（スポットワーク）を過去に利用したことがあるが、個人情報の問題もあり、活用の難しさを感じた。</li> <li>・人材派遣会社を通じて外国人を雇っている。仕事に対して姿勢がよく丁寧に働いている。</li> <li>・人手不足のため外国人採用について考えたことはあるが、部屋の確保等が必要ということで費用が掛かったり、条件や制限が厳しく感じた。</li> <li>・非常勤職員も多く全員が毎回集まれているわけではないが、毎月社内研修を行い、支援方法や障がい特性について等学んでいる。</li> </ul> <p>4. その他</p> <p>会の終了後にアンケートを実施し、今回の情報交換会についてはほぼ全員が『満足度：大変良かった』『大変役に立った』と回答。以下、参加者からの感想・意見について。（一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はグループ単位で話したが、出来ればもう少し時間をとって他のグループとも（出来れば全員）話し合えればと思った。とてもいい情報交換会だったと思う。</li> <li>・他事業所の状況を知り、共感できる部分も多かった。母体が大きい事業所とそうではない事業所の違いなども感じた。事前に各事業所から質問したいことや悩みについてなど具体的な内容を出してもらい、それに沿ってグループで話を出来たら良いのではないかと感じた。情報交換が出来、色々と知ることが出来たのは大変良かったのでまた開催してもらいたい。</li> <li>・とても参考になる情報や知識が聞けて良かった。次回も開催してほしい。</li> <li>・支援や運営目線でも他事業所との交流があり有意義な時間となった。一人当たり話せる時間を多く設けることでより密度の濃い時間になるのではと思った。（1グループ最大4人ほどに分ける、等）開催してもらいとてもありがたかった。</li> <li>・年に2、3回開催してほしい。</li> </ul>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和8年度 第1回 手話言語条例推進専門部会 報告	
日 時	令和8年4月27日(火) 18:00~19:30
場 所	千歳市社会福祉協議会 会議室2・3
参 加 者	千歳聴力障害者協会(佐藤会長(部会長))、千歳手話の会(神能会長)、千歳要約筆記の会やませみ(打矢代表)、北海道手話通訳問題研究会千歳・恵庭支部(阿部支部長)、千歳市社会福祉協議会(長澤地域福祉課長)、千歳市社会福祉協議会(川北専従通訳者)、千歳市障がい者支援課(阿部係長)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	1. 令和7年度の振り返りと報告について 2. 令和8年度の計画について 3. その他
会議内容	<p><b>【部会長挨拶】佐藤部会長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年1年間、聴力障害者協会、千歳市社会福祉協議会、手話の会、北通研と等々、事業に対してご協力頂き無事に終わることができお礼を伝えたい。昨年は6月に手話施策推進法が制定され、千歳市ではコミュニケーション条例がスタートした。さらに様々な活動が広がっていくことが予想されるため、皆様の協力を頂きながら進めていきたい。</li> </ul> <p><b>【協 議】</b></p> <p>1. 令和7年度の振り返りと報告について</p> <p>(1)千歳聴力障害者協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度は、各サークル・団体の協力を得ながら新しい取組を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①こども手話の会…夏休み期間(7/23・30・8/6・20)に実施。こどもと大人の計30名以上の参加があった。</li> <li>②手話カフェ…10/19・11/16・12/6に開催。東京デフリンピックのPR動画の鑑賞など。</li> <li>③手話による絵本の読み聞かせの協力(場所:千歳市立図書館)</li> <li>④その他…グリーンベルトまつりの手話体験の協力</li> </ul> </li> <li>・ 千歳聴力障害者協会が主体となって活動している「手話言語条例推進委員会」とこの手話言語条例推進専門部会の名称が似ており混同されるため、協会の専門部会は「千歳聴力障害者協会 手話言語を考える会」に改称した。3つの部会に分けて活動している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①ちとせの手話部会…市民憲章の手話動画を作成。市に依頼し、ソラタヨムービーにアップしてもらう予定。千歳市の観光地名の手話も作成中。</li> <li>②手話講座関係部会…小中学校の福祉授業の手話テキストの作成中。</li> <li>③手話普及部会…手話を使う場面(病院の窓口対応など)の動画を作成中。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2)千歳市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別紙資料をもとに令和7年度の取組について説明あり(デフリンピックキャラバン隊の受入れ、意思疎通支援事業の実施、手話の普及啓発)。</li> <li>・ その他市に対し、令和8年度予算編成に係る要望を提出した。</li> </ul>

	<p>(3)千歳市障がい者支援課  ・別紙資料をもとに令和7年度の取組について説明あり（おおむね計画どおり実施。新規事業5件、拡充事業3件、継続事業7件）。</p> <p><b>2. 令和8年度の計画について</b></p> <p>(1)千歳聴力障害者協会  ①こども手話の会のやり方を変えたい。（土曜連続開催など）  ②絵本の読み聞かせについて継続したい。  ③イベントへの手話体験ブース設置を継続したい。  ④考える会の3つの部会の活動も継続したい。  ⑤9月23日「手話の日」の関連イベントを開催したい。</p> <p>(2)千歳市社会福祉協議会  ①7年度実施事業の継続  ②令和8年4月1日から2名の専従手話通訳者が社協の正職員となった。今後は通訳者としてだけでなく、福祉教育のメニューや教材開発にも積極的に関わっていく。  ③令和8年度のふれあい広場事業は手話の普及啓発事業を実施する。  ③福祉教育をサポートする「手話体験ボランティア」の養成（現在、7名の申込あり）→手話通訳者の養成につなげていく</p> <p>(3)千歳市障がい者支援課  ・別紙資料をもとに令和8年度の取組について説明あり（新規事業：1DAY手話講座の開催、拡充事業：専従手話通訳者の正職員化、継続事業10件）。</p> <p><b>3. その他</b></p> <p>(1)手話言語条例専門推進専門部会に移行したあと、部会長による副部会長の指名が行われていなかったため、佐藤部会長より社会福祉協議会長澤課長が副会長として指名され、承諾を得た。  (2)今年空港100周年となり、様々なイベントが開催されるが、開催にあたっては手話通訳者や要約筆記者を配置するなどの情報保障が必要。  (3)令和10年度の条例制定10周年に記念行事を開催したい。令和9年度の予算要求に向けて、各所属で内容を検討し、次回専門部会で協議する（令和8年度末～令和9年度当初予定）。</p> <p>作成者 千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和8年度第1回コミュニケーション条例推進専門部会 報告	
日 時	令和8年4月22日(水) 16:00~16:40
場 所	千歳市役所第2庁舎2階会議室5・6
参 加 者	田口幹子(千歳いずみ学園)【部会長】、長澤利明(千歳市社会福祉協議会)【副部会長】、佐藤義典(千歳聴力障害者協会)、菊池悦子(千歳視覚障害者福祉協会)、青木繁雄(千歳市手をつなぐ育成会)、橋本好史(千歳市立北進小中学校)、大野哲哉(千歳市こども福祉部児童発達支援センター)、澤口勇治(日本ALS協会北海道支部千歳支会)、内藤悠(千歳市地域包括支援センター)【事務局】阿部さやか(千歳市障がい者支援課)、米澤緒子、中村友里(千歳市障がい者基幹相談支援センター)
要 旨	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 千歳市コミュニケーション条例関連施策(令和7年度実績・令和8年度計画)</p> <p>(2) コミュニケーションボードについて</p> <p>(3) その他</p> <p>3. 閉会</p>
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>田口部会長より専門部会についての説明。千歳市では、障がいのある人や高齢者が必要とする多様なコミュニケーション手段の利用を推進し、安心して共に生きることができる地域社会の実現を目指し、令和7年3月に『千歳市コミュニケーション条例』を制定した。市が推進する条例関連施策の進捗状況を確認するとともに、市と意見交換をする場となっていることを確認している。</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 千歳市コミュニケーション条例関連施策(令和7年度実績・令和8年度計画)</p> <p>障がい者支援課阿部係長より資料に沿って令和7年度の条例関連施策の実施状況について説明。すべて計画どおり実施することができたと報告あり。また、令和8年度の条例関連施策の実施計画について、新規や拡充事業について説明がある。主な新規事業として「あいサポート運動」の導入、主な拡充事業として手話に対する理解促進を目的とした「1DAY手話講座」の開催、視覚障がいのある人とその支援者を対象とするスマホ教室の開催、専従手話通訳者の正職員化などに取り組む計画となっている。</p> <p>【質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席の部会員からの質問を預かっている。日常生活用具に係るアンケート調査が実施されたが、その結果は、どのように反映されたのか。</li> <li>また、札幌市で導入されている目で意思疎通することができる機械の導入についてはいかがか。</li> </ul> <p>→確認し、個別に回答する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は空港開港100年である。新千歳空港内のバリアフリー施設の整備に当たっては、過去に当事者団体に対して意見のヒアリングが行われたこ</li> </ul>

とがある。これを機に改めて、障がいの有無を問わず、空港を訪れる人に対し、どのようなバリアフリー設備があるかを周知してはどうか。  
→ご意見は担当部署と共有する。

・空港開港 100 年とコミュニケーション条例を結び付けた取組ができないか。  
→ご意見は担当部署と共有する。

・視覚障がいのある人とその支援者を対象とするスマホ教室の開催について、参加者にどのように呼びかけるのか。定員はあるか。  
→市が社会福祉協議会（点字図書室）に委託して実施する予定。視覚障がい当事者への案内のほか、障害福祉サービス事業所等への周知を想定している。  
→NTT ドコモが開催しているリモート講座であり、最低 5 名以上の参加が必要である。

・リモート形式でのスマホ講習は、難しさも想定される。  
→実施結果を踏まえて、その効果を検証できればと考えている。  
→本講習は、支援者向けのスマホ講習の実施について道視連に相談して紹介されたもの。受講した人がすぐにスマホ操作を教えることができるようになることは難しいが、はじめの一歩となるような取組と捉えてほしい。

## （2） コミュニケーションボードについて

令和 7 年度に開催したコミュニケーション条例推進専門部会の中で市役所窓口を設置するコミュニケーションボードの案について意見を聴取し、その後みんなをつなげる会とも意見交換し、コミュニケーションボードを作成した。現在障がい者支援課の窓口を設置し、試行運用としている。

設置期間が短く、まだ窓口での利用実績がないため、各部会員の所属先でも可能な範囲で活用し、その結果をフィードバックすることとなった。市作成のコミュニケーションボードは改変も自由である。

### 【質問・意見】

・いつから設置しているか。  
→令和 8 年 3 月下旬に設置した。

・『軟骨電導イヤホン』と比べ、どちらを使うことが多いか。  
→設置が早かったということもあり、利用実績は軟骨伝導イヤホンの方が多い。

## （3） その他

今年度の専門部会について定期的な活動の予定はないが、条例に関する施策をすすめるに当たって、必要に応じて招集、または書面会議を開催する可能性があることを共有している。

また、今年度はあいサポート運動の導入を予定しており、サポーター研修の受講や、あいサポート研修の講師ボランティアの対応の協力をお願い

	している。令和8年度の実績報告は令和9年度4月に行う予定。 <b>3. 閉会</b>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

## 令和7年度 千歳市障がい者基幹相談支援センター事業報告

令和8年3月31日

千歳市障がい者基幹相談支援センターは令和7年4月に開設され、千歳市しあわせサポートセンター内に事務所を構えている。平日に開所し、休日や夜間は転送電話にて対応できる体制を確保している。休日・夜間対応の頻度は高くないが、令和7年度は年末年始めに地域生活支援拠点等事業の緊急時対応利用ケースで動きがあった。人員体制はセンター長、相談支援専門員、社会福祉士、事務員で1.6人工。センター長は千歳市障がい者総合支援センターChip 兼務となっていた。

### 1. 困難事例に対する総合的・専門的な相談支援の実施

令和7年度の相談件数は438件。多機関連携がより一層必要とされる重層的支援体制が整備され、複合的な課題を抱える家庭への支援として相談対応するケースが続いた。高齢の親と障がいのある子(40～50代)への支援として介入し、すぐに福祉サービス利用に繋がらないケースが多いが、時間をかけて関わりながら課題を整理し、制度や医療へ繋げるような働きかけを行った。

また、すでに福祉サービスを利用している方について事業所からの相談を受け、サービスの調整や成年後見支援センターと連携した支援を行った。こども家庭課や成年後見支援センター、地域包括支援センター等関係機関から相談を受け対応するケースが多かった。

### 2. 相談支援事業者等への指導助言・人材育成支援・研修等の実施

#### ・障がい福祉研修

10月22日第1回障がい福祉研修開催(参加者44名)。千歳市保健福祉部小島主幹を講師に招き、『聴いて、伝える』～コミュニケーションの基本～をテーマに傾聴やコミュニケーションの基本について学んだ。

2月10日第2回障がい福祉研修開催(参加者57名)。相談室やっほー前川氏を講師に招き、『本人のせいにはしない支援』をテーマに発達障がいの基礎知識と支援方法について学んだ。

参加者の半数以上が障害福祉分野の勤務歴が3年以下で、現場で直接支援を行う職員だった。コミュニケーションスキル向上や障がい特性の理解を深める機会として評価も高く、次回以降も同様の研修開催を希望する声も多く寄せられた。

#### ・特定相談の会(者)

月1回市内相談支援事業所の相談支援専門員が集まり、各事業所の相談傾向の共有や社会資源に関する情報共有を行った。また、年3回モニタリング点検を実施し、サービス等利用計画の作成やモニタリングの視点について意見交換し、各々の実務の振り返りや見直し、スキル習得の機会となった。

#### ・特定相談の会(児)

月1回市内相談支援事業所の児童の対応を行う相談支援専門員や発達相談に係る事業所が集まり、各事業所の相談傾向や発達相談の状況を共有した。年2回モニタリン

グ点検実施。会の中では、児童を対応する相談支援専門員の不足について話題になることもあり、地域課題の共有や協議の機会となった。

- 相談支援初任者研修インターバル期間のスーパーバイズ

研修主催団体からの依頼を受け、2回面談を実施。事例を通してサービス等利用計画作成に関する助言や実務に関する情報提供、市内の社会資源について共有する機会となった。

### 3. 相談支援委託事業者会議に関すること

- 障がい者総合支援センター運営会議

2社で運営している千歳市障がい者総合支援センターChipの運営会議を行った。現在、計画相談で対応できていないセルフプランの児童待機が増えており、児童の対応が可能な事業所が不足している状況である。今後は、幅広く児童ケースを含め担当できる市内相談支援の体制づくりが早急に求められる。さらに、委託事業者間での全体把握の難しさや情報共有の課題も指摘されている。

- 委託事業者会議

相談事業者体制強化のため、委託事業者の代表者及び担当者が集まり、各事業所の現状や地域課題や今後の取り組みについての話し合いを行った。

地域課題および今後の取り組みとしては、就労推進室やませみがハローワークと連携し、企業向けの出前講座を実施するなど、障がい理解の促進に努めている。加えて、自立支援協議会の目的や役割の再確認を図り、共通理解のもとで議論を深める必要があるほか、福祉サービスにつながっていない方への支援も重要な課題である。今後も地域連携を強化し、多様なニーズに対応した支援の充実を目指していく。

- 障がい者基幹相談支援センター運営実務者会議

基幹事業者間の連携については、地域生活支援センター・基幹相談支援センターともに精神疾患のある方からの相談が増加しており、計画相談へつながるケースが多い一方、相談支援専門員不足により新規受け入れが難しい状況も見られる。今後はより情報交換を密にし、専門性の向上と連携強化が求められる。

研修に関しては、相談支援事業者への指導・人材育成に加え、精神障がいへの理解や8050問題への対応を目的とした研修の充実が必要である。

### 4. 専門機関との連絡調整

- 市内の現状把握や地域課題の抽出のため、市内外事業所へ訪問し面談を通して情報収集を行った。地域の実情として、人手不足による事業所の廃止や規模縮小、支援体制の確保が出来ず受け入れ不可となることがあり利用者への影響も出ている状況。
- 重層的支援体制整備事業における重層的支援会議に参画し、関係機関と連携し相談支援に繋がったケースがあった。また、基幹相談支援センターで関わった個別ケースを特定相談支援事業所へ繋げ、その後も計画相談と基幹が委託相談として連携し継続して伴走することで、より安定した支援につながっているケースがあった。

## 5. 千歳市障がい者地域自立支援協議会及び同部会の運営に関すること

今年度より千歳市障がい者基幹相談支援センターで協議会の運営に関する業務を担当し、事務局業務として以下の部会の運営に携わった。

- こども部会

2か月に1回の定例会議の開催や講師を招いて行った支援者勉強会、学校見学会、保護者を対象とした情報交換会（座談会）、事業所説明会を行った。

- 相談支援専門部会

2か月に1回定例会議を開催。各相談機関の状況の共有や事例検討、『精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム』協議体構築に向けての意見交換を行った。

- 地域生活専門部会

不定期で会議を開催し、今年度は地域部会として1回、専門部会として2回開催した。各所の状況共有の他、地域生活支援拠点等の整備について流れの確認や共同生活援助事業者が集まる機会がないため、意見交換会開催に向けての実施検討を行った。

- 進路連絡会議

年2回開催し、高等支援学校・養護学校3年生・在校生の進路予定や実習状況の共有、市内福祉サービス事業所の情報提供の機会となった。2部制で開催し、後半はグループワーク形式で学校と事業所の情報交換や交流を行った。

- 手話言語条例推進専門部会

年1回開催し、前年度活動の振り返りと報告、今年度の活動計画について共有した。

- コミュニケーション条例推進専門部会

年1回開催し、前年度活動の振り返りと報告、今年度の活動計画について共有した。

- 定例会議前の事務局会議にて、特別支援学校・養護学校卒業後の進路について、支援度の高い方の受け入れ事業所が市内で不足しており、特に生活介護・共同生活援助・入所施設については市外の事業所に頼らざるを得ない状況にあるということが話題となった。生まれ育った地域で安心して福祉サービスを利用し、生活を続けていけるような支援体制整備の必要性が話し合わせ、今後の課題となっている。

## 6. 地域生活支援拠点等のコーディネート

地域生活支援拠点等事業の緊急時対応利用の調整を行った。1件は利用には至らなかったが、1件は拠点登録しているグループホームで緊急的に受け入れられ、その後正式に共同生活援助の利用に繋がった。

グループホーム等の社会資源の情報についてはホームページ上で発信できるよう調整中。

## 7. 権利の擁護のために必要な援助

成年後見支援センターと連携し、福祉サービス利用に係る調整や手続き等の支援を行った。また、千歳市市民後見人養成講座の講師を担当し、知的障がいの特性や必要とされる福祉サービス等について話し、市民後見人として活動される際の参考にして頂く内容を伝えた。

## 8. 障がい者虐待への対応に関すること

令和7年度から試行事業として始まった電子連絡帳を活用し、各関係者間との情報共有を行ったり、重層的支援会議を通して虐待疑いのあるケースについて、関係機関と会議を行い、支援の方法や方向性について協議し支援を行った。

## 9. 障がい者の権利擁護の啓発に関すること

令和7年度第1回千歳市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会に出席し、差別解消虐待防止専門部会学習会に参加した。

## 10. 千歳市障がい者総合支援センターの業務支援

就労系、居住系の福祉サービス利用についての相談対応、調整、事業所同行等を行った。また、成人してからの療育手帳取得に係る相談対応、手続き同行等を行った。

## 11. ピアカウンセリング

当事者の会として活動している、千歳星の会を年5回開催した。内容としては、軽スポーツ、カラオケ、クリスマス会など、当事者同士が交流したり自己紹介し、互いを理解しあう貴重な機会となった。

## 12. その他地域の障がい者等への支援体制の整備に関すること

- ・ ALS 協会交流会参加
- ・ 学校教育課との情報交換
- ・ 手をつなぐ育成会全道大会実行委員会参加
- ・ 重層的支援体制整備研修参加
- ・ 各種相談員連絡協議会出席
- ・ 札幌圏域相談支援ネットワーク会議出席
- ・ 「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けた地域連携会議
- ・ 千歳市医療的ケア児支援協議会
- ・ 要保護児童ネットワーク協議会出席
- ・ 千歳市住宅セーフティネット会議出席
- ・ 市内地域包括支援センター長会議出席
- ・ 生活困窮者自立支援調整会議
- ・ 市内校長会参加
- ・ 千歳市教育支援会議出席
- ・ 千歳市特別支援教育研修会出席
- ・ 包括支援センター協議会参加
- ・ 相談支援整備体制研修
- ・ 北海道千歳リハビリテーション大学と情報交換
- ・ 北海道済生会みどりの里（小樽）通所事業支援室と情報交換
- ・ 青少年支援者会議

# 令和8年度 千歳市障がい者基幹相談支援センター事業計画

令和8年4月1日

千歳市障がい者基幹相談支援センターは令和7年4月に開設され2年目を迎えた。千歳市しあわせサポートセンター内に事務所を構えている。平日に開所し、休日や夜間は転送電話にて対応できる体制を確保している。人員体制はセンター長、相談支援専門員2名（社会福祉士）で担う。基幹相談支援センターは地域における障がい者支援の中核的相談機関として、総合的・専門的な相談支援や地域連携、権利擁護などを行う。

## 1. 困難事例に対する総合的・専門的な相談支援の実施

千歳市障がい者基幹相談支援センターは、委託相談支援事業所として、複合的な課題を抱える困難ケースの対応など総合的な相談支援の実施が求められており、各関係機関との連携のもと、総合的・専門的な相談支援を実施する。

## 2. 相談支援事業者等への指導助言・人材育成支援・研修等の実施

市内相談支援事業所が集う特定相談の会（児・者）を定期的を開催し、相談傾向の共有や社会資源の情報共有を行い、またモニタリング点検や事例検討を通して実務の振り返りや相談支援の資質向上を図る。また、委託相談支援事業所や指定特定相談支援事業所と連携しながらスムーズに計画相談に繋がられるよう千歳市の相談支援体制を強化していく。

また、今年度も障がい福祉事業所職員を対象とした障がい福祉研修を行い、障がい特性の理解や支援のスキルアップを目的とした内容となるよう検討し実施する。

## 3. 相談支援委託事業者会議に関すること

地域の相談支援体制の強化の取り組みとして、『障がい者総合支援センター運営会議』『委託事業者会議』『障がい者基幹相談支援センター運営実務者会議』を実施予定とし、各所円滑に相談対応が行えるような体制作りや各機関の連携強化を図る。

## 4. 専門機関との連絡調整

専門機関へのつながりの他、各種情報収集や昨年作成した千歳市障がい者基幹相談支援センターのHP上で市内事業所等の社会資源や研修案内などを情報提供できるよう整備を進めていく。また、市が実施する重層的支援体制整備事業においては、障害福祉分野の専門機関として、重層的支援会議に参画する。

## 5. 千歳市障がい者地域自立支援協議会及び同部会の運営に関すること

各専門部会、はたらく部会を除く地域部会及び協力組織の事務局機能を担い、関係機関の緊密化を図る。

## 6. 地域生活支援拠点等のコーディネート

地域生活支援拠点等の整備に向けて必要な連絡調整を行うとともに、地域生活に必要な社会資源等の情報を収集し、発信する。

7. 権利の擁護のために必要な援助

市及び千歳市成年後見センター等と連携し、成年後見制度の適切な利用を支援する。

8. 障がい者虐待への対応に関すること

今年度も電子連絡帳を活用しつつ、各関係機関と連携し重層的支援会議等で情報を共有する中で、虐待疑いのあるケースについて支援の方法や方向性について協議し支援を行う。

9. 障がい者の権利擁護の啓発に関すること

協議会の差別解消・虐待防止専門部会の事務局として、障がい者の権利擁護の啓発を行う。

10. 千歳市障がい者総合支援センターの業務支援

必要に応じて個別の相談支援等の業務の支援を行う。

11. ピアカウンセリング

星の会（当事者団体）の活動を支援する。

12. その他地域の障がい者等への支援体制の整備に関すること

## 令和7年度 千歳市障がい者総合支援センターChip 事業報告

令和8年3月31日

### 1. 相談支援業務

千歳市障がい者総合支援センターChip は、令和4年度より委託相談事業所として新たな体制でスタートし4年が経過した。千歳市内の相談体制が整い、計画相談事業所が増えたこともあり、引継ぎ等もスムーズに行われるようになっている。さらに、児童に対する相談支援体制の充実に向け進めている。

令和7年度から千歳市障がい者基幹相談支援センター（以下、基幹相談支援センター）が開設されたことにより、千歳市全体としての相談体制が整備されてきている。

#### 【委託相談支援】

令和7年度の相談件数は、過去6年間最多の6,600件を超える状況となっている。

#### 《相談件数の推移》

年度	相談件数	月件数
令和7年度	6,679件	556件
令和6年度	5,238件	436件
令和5年度	3,793件	316件
令和4年度	3,216件	268件
令和3年度	4,095件	341件

新規の相談件数は、令和6年度の148件に対し、7年度は208件となり、年を追うごとに増加傾向にある。

成人の相談では、昨年度と同様に「精神」の比率が高く、この「精神」の中には発達障がいや高次脳機能障がいの方も含まれている。

相談内容としては、就労希望の方からの相談が増加、見学や体験も含めた就労支援事業所の選定に関することが多い。また、近年市内にグループホームが増えていることから、入居に向けての相談も多い状況である。札幌などの事業所を利用希望の方も増えており、相談員が出張してのアセスメントやモニタリングに時間を費やしている傾向がみられる。相談方法は電話相談が多数を占めている。

児童では近々の5年間で小・中・高校や放課後等デイサービスの調整に関する事、不登校への対応についての相談が年を追うごとに増えている。相談件数は令和6年度と7年度で比較し約1.5倍に増えており、新規相談は2.8倍となっている。

全体を通して、個々のケース相談から、その家族を含めて対応が求められるなど、重層的な支援を必要とする案件が多くなっている。さらに、関係機関（医療・教育・高齢者福祉・生活困窮・成年後見制度等）との調整が複雑となっており、相談支援体制の拡充が求められている現状にある。

## 2. 自立支援協議会

令和7年度から基幹相談支援センターが開設され、自立支援協議会の運営に関する業務を担当、Chipは基幹相談支援センターの業務を補佐する立場で、引き続き協議会の運営に協力している。

## 3. 相談支援の質的強化及びネットワークの充実

### (1) 会議（協議会）・研修会への出席

相談支援の資質向上、関係機関とのネットワーク充実に向けて、関係する会議・研修会へ職員の出席（参加）、開催協力を行っている。

#### 【札幌圏域相談支援ネットワーク会議】

石狩圏域の相談事業所が相談業務に係る情報交換、研修の場として年間2回ほど開催された。各事業所の相談支援状況、各市町村における障がい者支援体制の強化、自立支援協議会の活動状況、地域生活拠点等の整備状況、虐待防止・差別解消に関する取り組み状況、業務上の課題等、様々なテーマに対して各地域及び各事業所からの報告を受けて活発な情報交換がされている。

#### 【千歳市各種相談員連絡会議】

障がい者・児が相談を受ける機関は市内で多岐にわたり、他の相談機関から紹介を受けた方がChipでの相談につながるケースも少なくない。また、相談の過程で他の相談機関と連携（協力）が必要となるケースも多々見られる。

関係機関との連携した相談支援の充実が求められている点で、各機関及び相談員相互の連携を目的とした情報交換や研修を実施している本会議への参加は重要である。

#### 【千歳市医療的ケア児支援協議会】

年3回行われている千歳市医療的ケア児支援協議会)にChipとして参加している。

医療技術の進歩により、日常的に医療的ケアを必要とし地域生活を送る医療的ケア児が当市でも増えてきている。医療的ケア児にとって在宅生活はもとより、地域の認定こども園や小中学校での生活を継続していくに当たってはまだ課題が多くあるため、福祉サービスの取り組みや提供、また「障害の有無に関わらない学びの場を作り出していく」ためにも今後も関係機関や事業所等と密に連携をしていく。

#### 【千歳市生活困窮者自立支援連絡調整会議】

相談の中で、生活困窮を訴えてくるケースも少なくなく、家計収支、住宅確保、就労、教育、医療、福祉が複合的に生活困窮の要因となっていることもある。さらに、家族全体への支援も必要なケースもあり、Chip単独での対応が難しいケースも多く、関係機関と連携して解決に向けた相談や支援に結びつける必要なケースも増えてきている。本会議で得られた関係機関からの報告や情報はChipでの相談業務の際に非常に参考とするところである。

【千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク】

本年度も「書面会議」とされたが、協議内容の中においては年度内の障害者に係る虐待の相談の相談・通報の状況についての報告がされていた。相談業務の中でも「虐待案件」として留意しなければならないケースもあり、今後も連携が必要である。

【千歳市教育支援委員会・特別支援教育専門家チーム会議等】

福祉と教育の連携の重要性が高まる中、福祉サービスの利用も学校教育と密接につながるケースが多くなっている。障がいのある児童、生徒及び就学予定者の教育的支援の充実のために、委員（福祉関係職員）として出席をしている。

教育支援委員会での審議の他に、市内の小中学校における教育相談や教育的支援の状況把握や教員の資質向上のための研究会・研修会などに参加をしている。

(2) 各種研修会などでの講義

○千歳市児童発達支援センター 就学学習会

就学前の保護者の方の学習会の場で、小学校入学後に利用できる福祉サービスについての知っていただき、放課後や長期休業の過ごし方について考えていただくための情報を提供した。Chip では児童（小学校入学以降）への相談支援の充実を図るように取り組んでおり、本人及び保護者への理解・啓発も含めて非常に良い機会となっている。

○児童生徒の Chip 見学と卒業後の就労や生活の関する講義

学校（高等支援学校）の進路指導の一環として実施されている「福祉サービス機関の見学」の中に「相談支援事業所見学」がある。その中で来所した生徒に対して千歳市役所や市内の各種相談機関についての理解を深めるための講義を行った。進路を決める過程で関係を持つ相談事業所について、本人が理解するために貴重な取り組みとなっている。

○千歳市市民後見人養成講座における講義

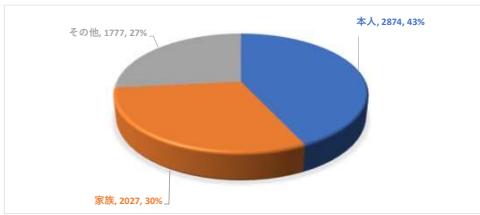
相談を受ける中で、障がい等の理由で財産管理や身上保護などの法律行為を一人で行うことが困難な方がいる。その際は「成年後見人制度」などの利用につなげるケースもある。障がいを持たれている方にとっても権利擁護と自立した社会生活を営む上で必要な制度であり、その制度を利用する際の支援を担う人材としての市民後見人も重要な役割をはたしている。その人材の養成に係る講座で Chip が関わりを持っている知的障がい者について理解をしていただくための説明をした。病理的な部分も含めた知的障害の特性や必要とされる福祉サービス等について幅広く理解していただくことで、市民後見人として活動される際の参考にしていただく内容をお伝えしている。

■ 令和7年度 千歳市障がい者総合支援センターChip 実績報告

令和8年4月21日

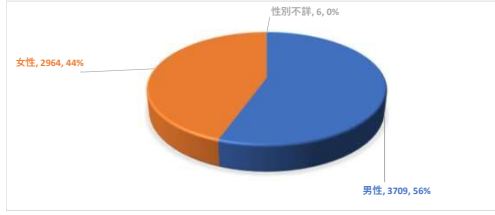
1 相談件数（本人・家族別）

	本人	家族	その他	合計
件数	2874	2027	1777	6678
割合	43%	30%	27%	
前年度からの増減（実数）	-1095	-924	-866	-2885
前年度からの比較（比率）	62%	54%	51%	57%



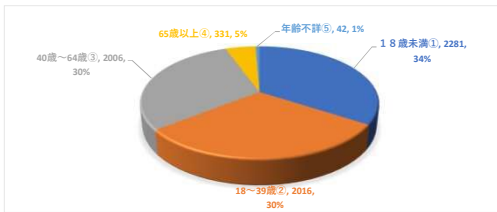
2 相談件数（性別）

	男性	女性	性別不詳	合計
件数	3709	2964	6	6679
割合	56%	44%	0%	
前年度からの増減（実数）	-1780	-1132	26	-2886
前年度からの比較（比率）	52%	62%	533%	57%



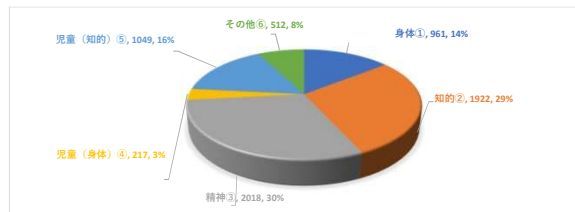
3 相談件数（年齢別）

	18歳未満①	18～39歳②	40歳～64歳③	65歳以上④	年齢不詳⑤	小計①②③④	合計①～⑤
件数	2281	2016	2006	331	42	4395	6676
割合	34%	30%	30%	5%	1%		
前年度からの増減（実数）	1344	494	805	261	-21	1539	2883
前年度からの比較（比率）	41%	75%	60%	21%	150%	65%	57%



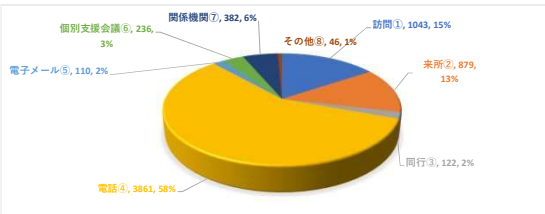
4 相談件数（障害別）

	身体①	知的②	精神③	双盲(身体)④	聴覚(知的)⑤	その他⑥	合計①～⑥
件数	961	1922	2018	217	1049	512	6679
割合	14%	29%	30%	3%	16%	8%	
前年度からの増減（実数）	557	808	664	158	397	302	2886
前年度からの比較（比率）	42%	58%	67%	27%	62%	41%	57%



5 相談形態（相談形態別）

	訪問①	来所②	同行③	電話④	電子メール⑤	個別支援会議⑥	関係機関⑦	その他⑧	合計①～⑧
件数	1043	879	122	3861	110	236	382	46	6679
割合	16%	13%	2%	58%	2%	4%	6%	1%	
前年度からの増減（実数）	333	184	52	1777	84	189	241	26	2886
前年度からの比較（比率）	68%	79%	57%	54%	24%	20%	37%	43%	57%

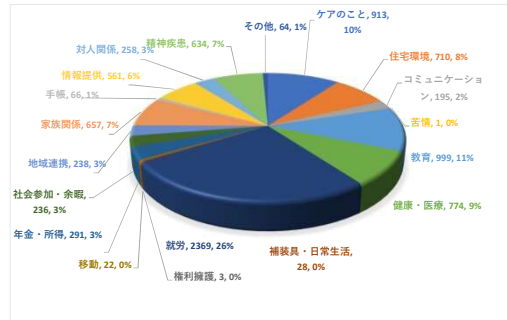


6 相談件数（新規・継続）

	新規	継続	合計
件数	208	6471	6679
前年度からの増減（実数）	91	2795	2886
前年度からの比較（比率）	178%	176%	176%

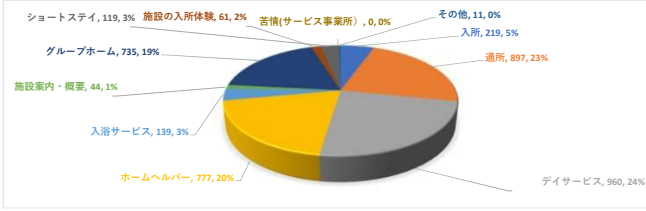


7 相談内容 (1) 生活全般に関する相談



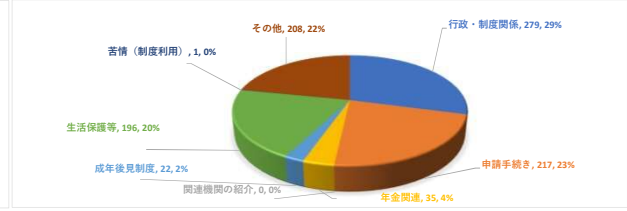
7 相談内容

(2) 施設等サービス利用に関する相談



7 相談内容

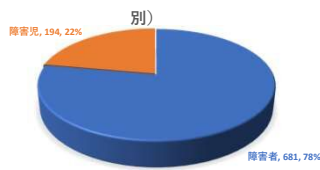
(3) 制度利用に関する相談



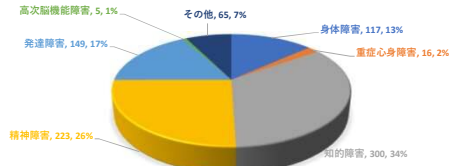
8 相談支援を利用している障害者等の人数

分類	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
合計人数	117	16	300	223	149	5	65	875
前年度からの増減 (実数)	35	8	69	100	13	1	38	264
前年度からの増減 (比率)	143%	200%	130%	181%	110%	125%	241%	143%
障害者人数	100	11	235	217	62	4	52	681
割合	15%	2%	35%	32%	9%	1%	8%	78%
前年度からの増減 (実数)	27	6	62	96	-5	0	29	215
前年度からの増減 (比率)	137%	220%	136%	179%	93%	100%	226%	146%
障害児人数	17	5	65	6	87	1	13	194
割合	9%	3%	34%	3%	45%	1%	7%	22%
前年度からの増減 (実数)	8	2	7	4	18	1	9	49
前年度からの増減 (比率)	189%	167%	112%	300%	126%	#DIV/0!	325%	134%

8-1 相談支援を利用している障害者の人数 (障害者・障害児別)



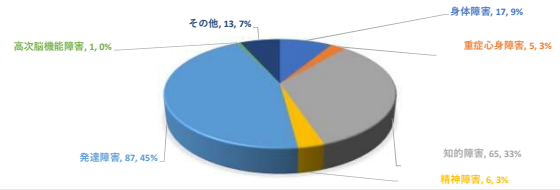
8-2 相談支援を利用している障がい者の人数 (障害種別)



8-2-1 相談支援を利用している障害者の人数 (障害者)

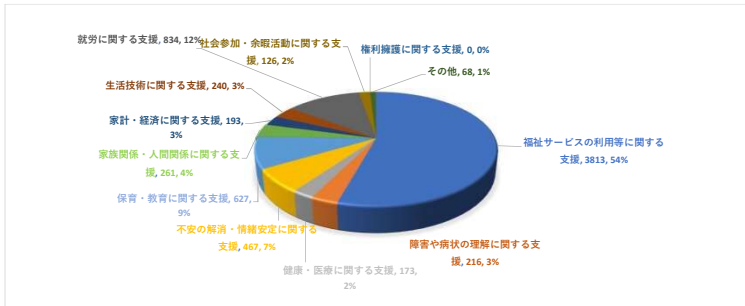


8-2-2 相談支援を利用している障害者の人数 (障害児)



9 支援内容

分類	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	合計
件数	3813	216	173	467	627	261	193	240	834	126	0	68	7018
割合	54%	3%	2%	7%	9%	4%	3%	3%	12%	2%	0%	1%	
前年度からの増減 (実数)	1111	-1283	-454	126	192	-1270	-103	-1361	-444	-36	-50	-128	-3700
前年度からの増減 (比率)	141%	14%	28%	137%	144%	17%	65%	15%	65%	78%	0%	35%	



# 令和8年度 千歳市障がい者総合支援センターChip 事業計画

令和8年4月1日

## 1. 相談支援業務

千歳市障がい者総合支援センターChipは、令和4年度より委託相談事業所として新たな体制でスタートし5年目を迎えた。

近年、千歳市内では特定相談支援事業所（計画相談）が徐々に増えている。Chipは市民の窓口として児童から成人まで様々な相談を受け、特定相談支援事業所への引継ぎが重要な役割の1つになっている。（福祉サービス利用に関する支援等）

また、特定相談支援事業所とChipが相互に協力し合いながら、困難ケースへの支援や専門機関との連携を、本年度もより一層協働し進めていく。

## 2. 千歳市障がい者地域自立支援協議会

Chipは令和6年度まで、協議会の運営に関する業務を担当し、事務局業務として各部会の運営に携わってきた。

令和7年度より、千歳市に「千歳市障がい者基幹相談支援センター」（以下、基幹相談支援センター）が設置されたことで、協議会の事務局業務は基幹相談支援センターが担うこととなった。また、一部の部会は「専門部会」へと移行された。Chipは基幹相談支援センターの業務を補佐する立場で、今後も協議会の運営業務に携わっていく。

## 3. 当事者活動支援

### 【千歳星の会】

本会は障がいのある当事者が職場や事業所利用以外の時間の活動の場を増やすことを目的として発足した「当事者活動の場」であり、令和7年度より、支援する中心は基幹相談支援センターが担うこととなった。Chipは基幹相談支援センターの業務を補佐する立場として、今後も本会の支援業務に携わっていく。

市民の相談窓口であるChipが、当事者及び家族から近い存在としてより一層、会の活動を応援していく。

## 4. 相談支援の質的強化及びネットワークの充実

### （1）会議（協議会）・研修会への出席

相談支援の資質向上、関係機関とのネットワーク充実に向けて、関係する会議・研修会へ職員の出席（参加）、開催協力を行うとともに、基幹相談支援センターの業務を補佐していく。

### 【札幌圏域相談支援ネットワーク会議】

石狩圏域の相談事業所が相談業務に係る情報交換、研修の場として年間2回のペースで開催されている。各事業所の相談支援状況、各市町村における障がい者支援体制の強化、自立支援協議会の活動状況、地域生活拠点等の整備状況、虐待防止・差別解消に関する取り組み状況、業務上の課題等、様々なテーマに対して各地域及び各事業所からの報告を受けて活発な情報交換がされる場である。Chipは、基幹相談支援センターや他の相

談支援機関とともに会議に出席（参加）し、地域の相談支援体制の強化を図っていく。

#### 【千歳市各種相談員連絡会議】

障がい者・児が相談を受ける機関は市内で多岐にわたり、他の相談機関から紹介を受けた方が Chip での相談につながるケースも少なくない。また、相談の過程で他の相談機関と連携（協力）が必要となるケースも多々見られる。

関係機関との連携した相談支援の充実が求められている点で、各機関及び相談員相互の連携を目的とした情報交換や研修を実施している。本会議において地域の相談支援体制を把握する上で重要であり、本年度も Chip は委員として出席（参加）していく。

#### 【千歳市医療的ケア児支援協議会】

令和6年度より、年に数回の協議会へ Chip として出席（参加）している。

医療的ケア児にとって在宅生活はもとより、地域の認定こども園や小中学校での生活を継続していくに当たってはまだ課題が多くある。福祉サービスの取り組みや提供、また「障がいの有無に関わらない学びの場を作り出していく」ためにも今後も関係機関や事業所等と密に連携をしていく。

#### 【千歳市生活困窮者自立支援連絡調整会議】

相談の中で、生活困窮を訴えてくるケースも少なくなく、家計収支、住宅確保、就労、教育、医療、福祉が複合的に生活困窮の要因となっていることもある。さらに、家族全体への支援が必要なケースもある。そのため、Chip 単独での対応が難しいケースも多く、関係機関と連携して解決に向けた相談や支援に結びつける必要がある。本年度も引き続き、Chip として出席（参加）していく。

#### 【千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク】

令和7年度も「書面会議」とされたが、協議内容では年度内の障がい者に関わる虐待の相談・通報の状況についての報告がされていた。相談業務の中でも「虐待案件」として留意しなければならないケースもあり、市や基幹相談支援センターと連携が必要であり、引き続き Chip として出席（参加）していく。

## 令和 7 年度 千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業 報告

千歳地域生活支援センター

千歳地域生活支援センターは、指定特定相談支援事業所・指定一般相談支援事業所として、「千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業」を受託し、「地域活動支援センター I 型」として運営している。また、他に北海道から「精神障がい者地域生活支援事業」を受託し、精神障がい者の地域移行・地域定着に向けた取組も行っている。

### 1. 相談実績

#### （１）相談者の状況（千歳市内のみ）

相談件数は延べ 6,356 件（前年度から 113 件増）。相談者は「本人」が 52%（3,288 件）、「家族以外（関係者等）」が 45%（2,845 件）、「家族」3%（223 件）となっている。障がい別件数では、「精神障がい」が 70%、「発達障がい」が 10%、「知的障がい」が 19%、「身体障がい」が 1%未満、「その他」が 1%だった（重複障がいの方の場合は精神障がい以外に所持している手帳を優先して計上）。年齢別では「40～64 歳」が最も多く 61%、「18～39 歳」が 33%、「65 歳以上」が 4%であった。

相談形態は「電話」が一番多く 41%（2,598 件）、「訪問」7%（432 件）、「来所」3%（221 件）、「個別支援会議」3%（221 件）となっている。全体的な割合は前年度と大きな変化は無いが、訪問が若干増えている。

#### （２）相談内容（項目の重複あり）

相談内容は「生活全般の相談」が 66%と一番多く、次いで「施設等サービス利用の相談」の 31%となっている。

生活全般の相談では「精神疾患に関わる相談」（症状、治療、病院のことなど）が 22%、「話し相手」（心理情緒面の受け止め等、比較的軽微な相談）16%、「近況」（生活状況等の報告）10%、「家族関係」9%、「健康・医療」8%、「対人関係」7%等が多い項目となっている。

施設等サービス利用の相談では就労支援事業所等に関する「通所系サービス」が 56%（前年度 61%）と一番多いが、グループホームが増えたこともあって「居住系サービス（グループホーム等）」26%、「居宅サービス（ホームヘルプサービス）」11%となっている。

制度等利用相談では、「生活保護等」39%の他、「障がい福祉サービス」が 22%、「年金等」16%、「その他」は介護保険や日常生活自立支援事業に関する相談などとなっている。

### 2. 特定相談の会

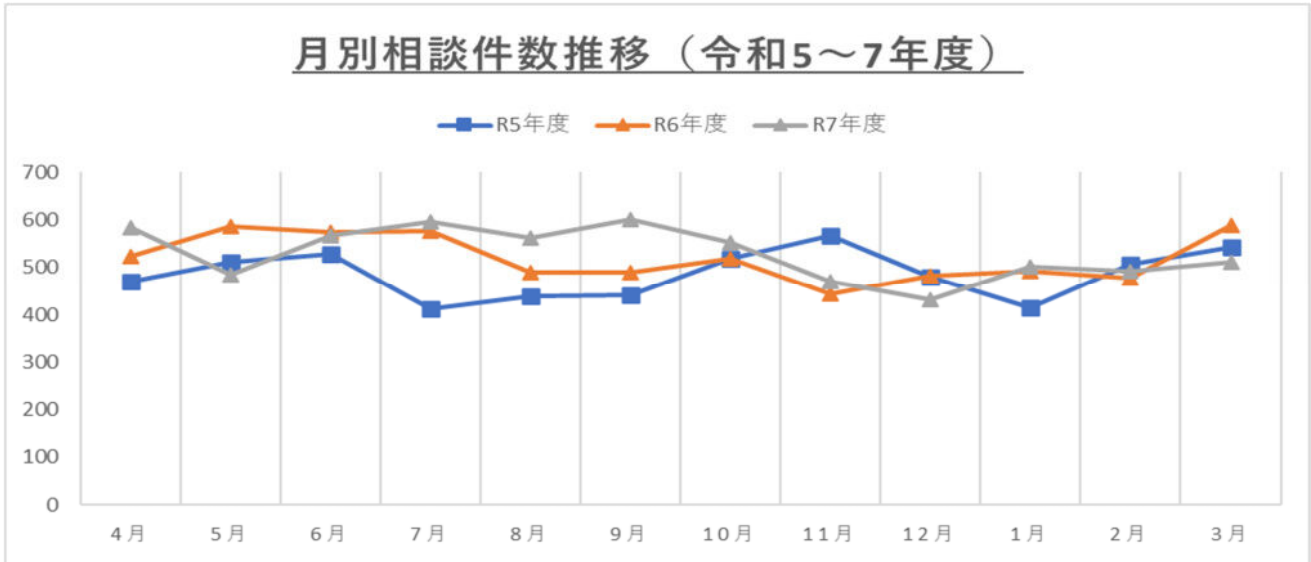
数年前より、市内の特定相談支援事業所を招集して、計画相談支援を中心とした情報交換や勉強の会である「特定相談の会」を月 1 回定例で開催している。

令和 6 年度からは行政担当者にも毎回参加してもらうようになり、また令和 7 年度からは基幹相談支援センターが設置されたのを機に、基幹相談支援担当主幹、当センターとの 3 機関で会を運営するようにしている。会では、地域の障害福祉サービス事業所等の現状についての情報共有、各相談支援事業所の計画相談支援の受入れ状況等の情報交換、モニタリング点検、事例検討等をしている。また、会を通じた新規開設の事業所への支援も行い、令和 7 年度は開設準備中から参加をしてもらい、年度後半に稼働開始した事業所が 1 ヶ所あった。

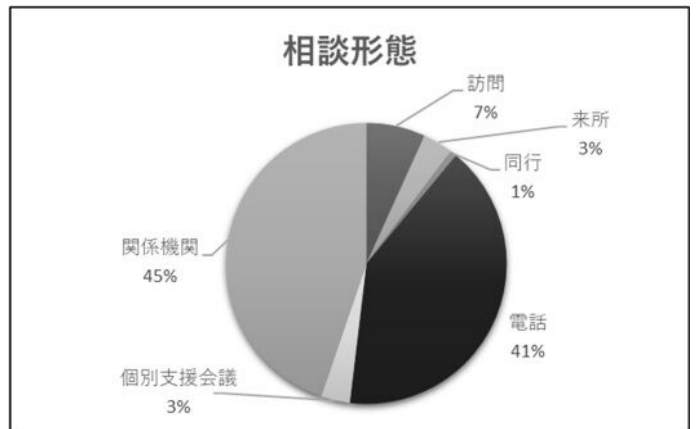
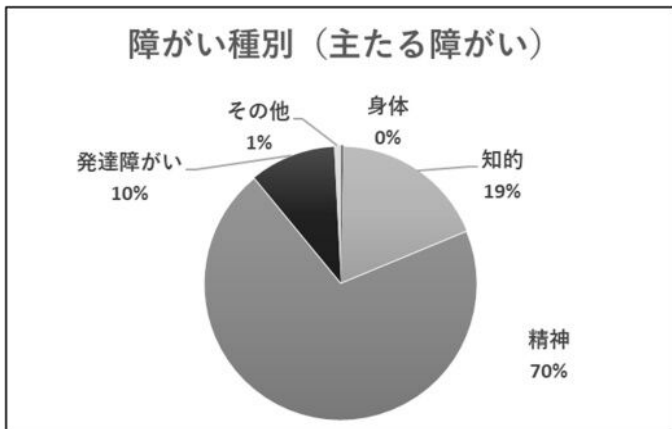
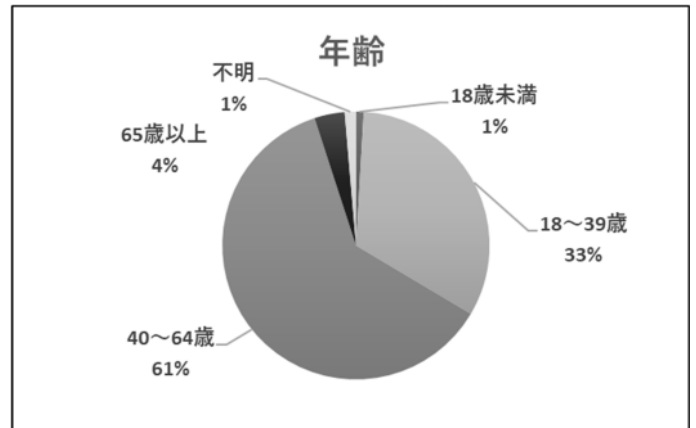
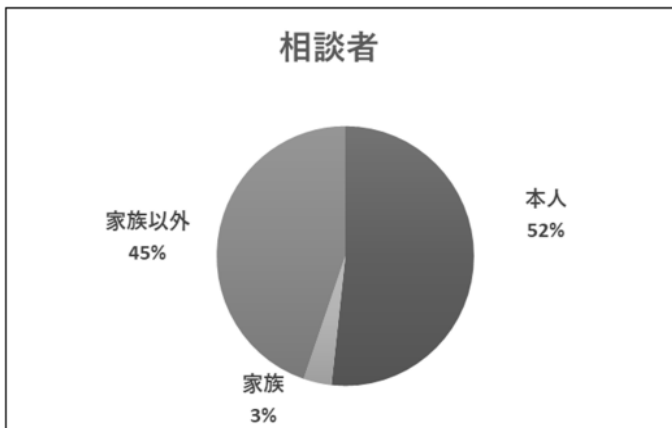
### 3. 相談実績 グラフ

#### (1) 月別相談件数推移（令和5～7年度）

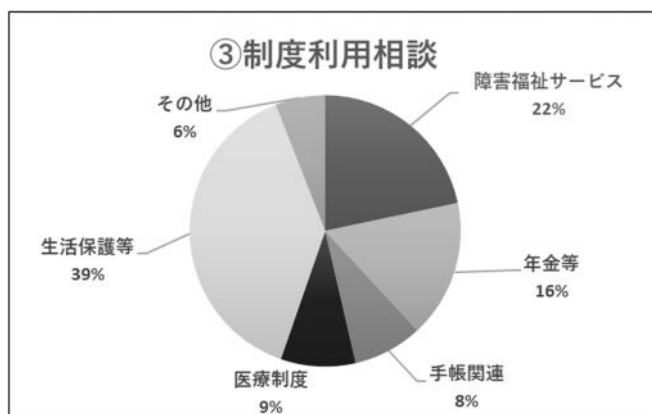
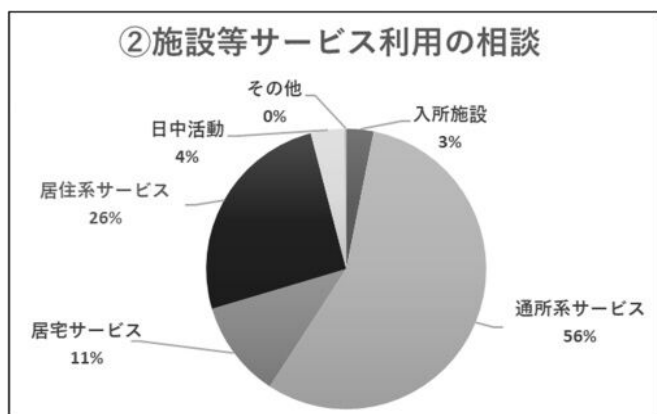
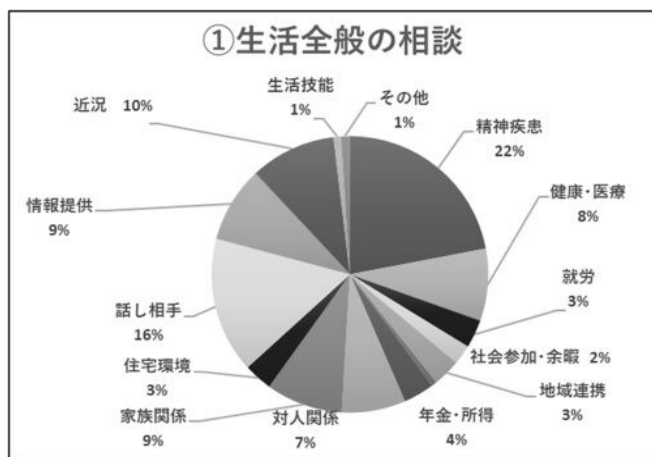
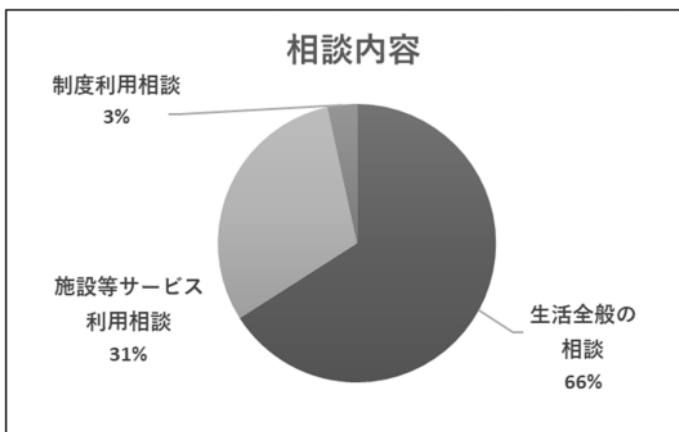
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	471	512	528	412	438	440	518	567	479	414	506	544	5,829
R6年度	523	587	574	578	490	489	518	444	482	493	477	588	6,243
R7年度	585	484	568	595	562	601	552	470	432	502	493	512	6,356



#### (2) 相談者の状況



(3) 相談内容



# 令和8年度 千歳市障がい者基幹相談支援センター機能強化事業計画

千歳地域生活支援センター

「障がい者基幹相談支援センター機能強化事業」での当センターの役割は、千歳市障がい者基幹相談支援センターを補佐して、障がい者やその家族等の相談に応じ、(精神障がい等の) 専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応、千歳市障がい者地域自立支援協議会と連携していくことなどとなっている。

## 1. 困難事例等への対応

相談支援専門員(精神保健福祉士等)による、障がい当事者やその家族への相談対応、相談支援事業者や障がい福祉サービス事業者等への専門的な助言等を行う。

## 2. 相談支援事業所等との連携

市内の相談支援体制が再編され、令和7年度からは委託相談支援事業所会議や基幹相談支援センター運営実務者会議等も開催されるようになった為、あらためて基幹相談支援センター、委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所等との連携強化を図る。「特定相談の会」についても千歳市基幹相談支援センター、基幹相談支援担当主幹と協力して、定例開催を継続する。

## 3. 千歳市障がい者地域自立支援協議会の運営協力等

千歳市地域自立支援協議会委員の他、相談支援専門部会を始めとして複数部会へ参画。協力組織に位置付けられている「進路連絡会議」についても運営補助等を行う。

## 4. 住宅入居等支援事業

不動産業者に対する物件斡旋依頼や入居契約手続きの支援を行う。

また令和7年度より、千歳市建設部建築政策課による、障がい者を含めた“住宅確保要配慮者”への居住支援体制の構築に向けた勉強会や検討会が開催されており、会に参加し地域課題等の意見交換など積極的に行っていく。

## 令和7年度千歳市障がい者就労支援事業業務実績報告

### 就労支援報告

#### 1 企業開拓

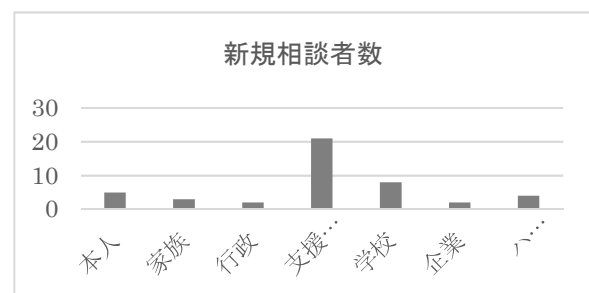
企業訪問・来室・電話 49社(延べ132件)

#### 2 就労支援 実績

(1) 新規相談者数 44件

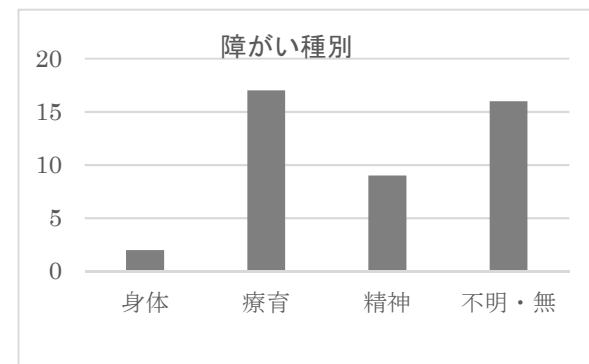
##### ① 新規相談者について

・本人から	5件
・家族から	3件
・行政から	2件
・就労支援機関から	21件
・学校から	8件
・ハローワーク	6件
・企業	1件



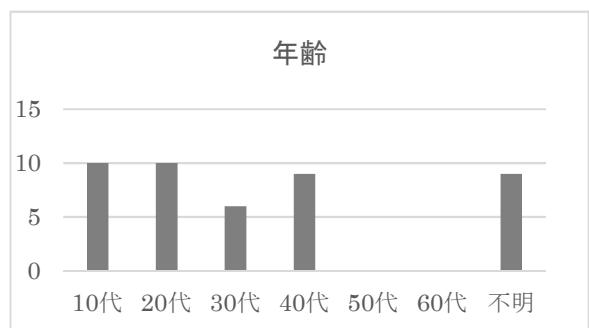
##### ② 新規相談者の障がい種別について

・身体障害者手帳	2名
・療育手帳	17名
・精神障害者保健福祉手帳	9名
・不明または手帳無し	16名



##### ③ 新規相談者の年齢について

・10代	10名
・20代	10名
・30代	6名
・40代	9名
・50代	0名
・60代	0名
・不明	9名



④ 新規相談者数のうち5名は一般就労へつなげる。また1名は一般就労の準備性を整えることが必要と判断し、就労継続支援事業所へつなげる。

(2) 新規就労者数 16名 (うち年度内離職者1名)

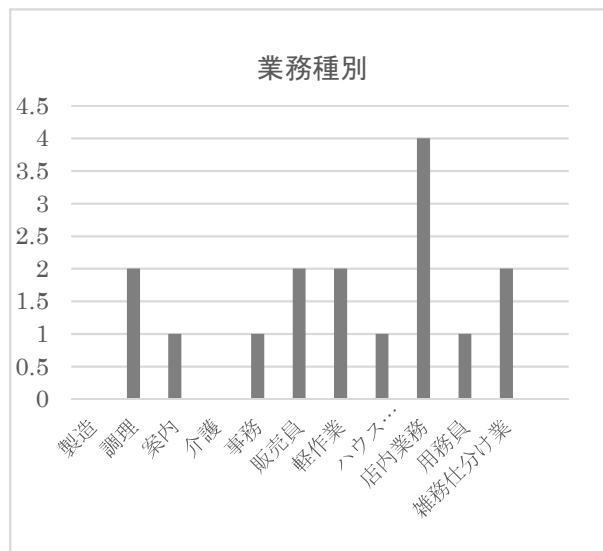
① 新規就労者の障がい種別について

- ・身体障害者手帳 0名
- ・療育手帳 13名
- ・精神障害者保健福祉手帳 3名



② 新規就労者の業務種別

- ・製造業務 0名
- ・調理補助業務 2名
- ・案内業務 1名
- ・介護業務 0名
- ・事務業務 1名
- ・販売員 2名
- ・軽作業 2名
- ・ハウスクリーニング 1名
- ・店内業務 4名
- ・用務員 1名
- ・雑務仕分け業 2名

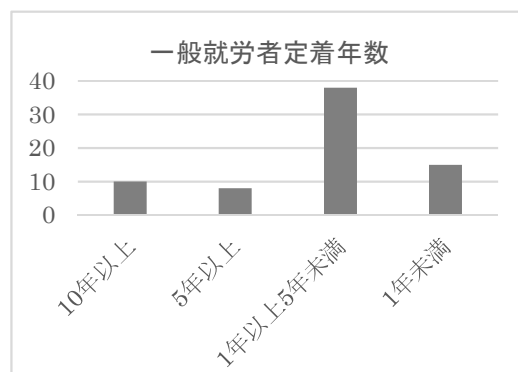


3 定着支援 (面談・職場訪問) の成果

(1) 就労定着支援数 71名 (令和年3月末時点)

① 一般就労継続者 (前年度比)

- ・10年以上 10名 (+5名)
- ・5年以上 8名 (-4名)
- ・1年以上5年未満 38名 (+14名)
- ・1年未満 15名 (+5名)



② 就労継続支援事業所 8名 (+3名)

4 主な定着支援職場巡回先

- ・生活協同組合コープさっぽろ トドック千歳センター
- ・生活協同組合コープさっぽろ トドック北広島センター
- ・生活協同組合コープさっぽろ 恵み野店
- ・トライアルストアーズ (千歳清流店)
- ・株式会社 元気な介護 ぐらしさ千歳

- ・ANA 新千歳空港株式会社
- ・北海道シーアイシー研究所
- ・シュー・プラザアクロスプラザ恵庭店
- ・カルビー株式会社 北海道工場
- ・DCM 株式会社 DCM 千歳北店
- ・北海道ロジサービス
- ・社旗福祉法人いはつの会 養護老人ホーム千歳千寿園
- ・株式会社ツルハホールディングス ツルハドラック千歳高台店
- ・株式会社ゆうしんかん デイサービスゆうしんかん
- ・株式会社ラルズ スーパーアークス 長都店
- ・株式会社ホクリョウ 千歳 GP 工場
- ・ファーム TORAO 株式会社
- ・株式会社北のアトリエ
- ・株式会社しまむら アベイル千歳店
- ・株式会社 良品計画
- ・とんでん株式会社
- ・株式会社ダスキンスーヴ北海道 ダスキン豊里店
- ・千歳市公共職業安定所（ハローワーク千歳）
- ・イオン北海道千歳店

## 5 農福連携実績

### (1) A 農家

- ・落花生定植・収穫

連携事業所：就労継続支援 B 型事業

作業期間：5月中旬～8月下旬

作業実績：作業期間中の月～金（週5日間のうち1～2日）

作業単価：時給制(工賃) ￥300/1H

### (2) B 農家

- ・小松菜の袋詰め

連携事業所：①就労継続支援 A 型事業所

作業期間：5月～10月

作業実績：作業期間中の月～金（週5日間）作業単価：時給制 ￥1,075/1H

- ・ピーマンのヘタ切り・人参収穫・アスパラ除草

連携事業所:②就労継続支援 B 型事業所

作業期間:4月～10月

作業実績:作業期間中の月～金(週5日間)

作業単価:時給制(工賃) ¥650/1H

### (3) B 農家

- ・とうもろこし草取り(除草)

連携事業所:①就労継続支援 B 型事業所

作業期間:スポット作業 ※2H

作業実績:

作業単価:¥2,000

連携事業所:②就労継続支援 B 型事業所

作業期間:スポット作業 ※3H

作業実績:

作業単価:¥3,000(半日作業)

### (4) C 農業関係事業所

- ・人参の皮むき

連携事業所:就労移行・就労継続支援 B 型事業所

作業期間:通年

作業実績:火水(午前のみ)、木(午前午後) 3日/週

作業単価:出来高制 1kg(¥30)

令和8年3月31日

社会福祉法人 千歳いずみ学園

就労推進室 やませみ

# 令和8年度 就労推進室やませみ 事業計画書

## I. 事業の目的

就労推進室やませみは、千歳市障がい者就労支援事業実施要綱（2012年3月28日市長決裁）に則して実施するものである。

業務名を「千歳市障がい者就労支援事業業務」とし、主な事業の目的として障がいのある人が地域で自立した生活を送るため、障がい者就労支援推進員を配置し、雇用、保健、福祉、教育など各分野の関係機関と連携し、市内の及び近郊の企業などの障がい者雇用の実態の把握及び障がい者雇用に関する啓発を行うとともに、障がい者の就労や職場定着、職場実習などに関する支援を行うことにより、障がい者の雇用機会拡大を図るなど障がい者の就労支援を推進する。

## II. 障がい者就労推進事業

### 1. 企業などに対する障がいのある方の雇用の促進

千歳市内や近郊の企業に対して障がい者雇用促進に関する普及啓発をおこなう。

・企業訪問・開拓 …《目標値》 30件 / 年

（令和7年4月からの除外率制度の引き下げや令和8年7月からの法定雇用率の引き上げ、また昨今においては厚生労働省が障がいのある方の雇用数だけではなく質の向上を重視する事業主の責務を明確化するなど、関連法の改正や施策の策定などの動向が伺えることから、当該法や企業への波及性に着目しながら促進を実施する。）

### 2. 就労支援

(1) 障がいのある方の就労に関する相談や助言を行い就職及び職場定着に向けた支援をおこなう。

① 新規相談登録者 …《目標値》 20名

② 新規就労者数（一般・福祉） …《目標値》 10名

③ 定着支援（面談・職場訪問） …《目標値》 55名以上 ※1

※1 第7期千歳市障がい福祉計画 令和8年度目標値に準ずる

◇ 就労継続者数 … 68名（令和7年12月末時点）

・ 10年以上 … 8名

・ 5年以上10年未満 … 9名

・ 1年以上5年未満 … 38名

・ 1年未満 … 13名

◇ 主な定着支援職場巡回企業

- ・株式会社ホクリヨウ 千歳 GP 工場
- ・日清医療食品株式会社（千歳桂病院）
- ・社会福祉法人いちはつの会 養護老人ホーム千歳千寿園
- ・株式会社エア・ウォーター農園 千歳農場
- ・田中製餡株式会社
- ・生活協同組合コープさっぽろ トドック千歳センター
- ・生活共同組合コープさっぽろ トドック北広島センター
- ・生活協同組合コープさっぽろ 恵み野店
- ・シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社（千歳市学校給食センター）
- ・株式会社ツルハホールディングス ツルハドラック千歳高台店
- ・岩田醸造株式会社 千歳工場
- ・トヨタカローラ札幌株式会社 新車受渡センター
- ・株式会社北海道シーアイシー研究所
- ・株式会社ラルズ スーパーアークス 長都店
- ・株式会社ラルズ スーパーアークス 千歳店
- ・サツドラホールディングス株式会社 サツドラ千歳梅ヶ丘店
- ・サツドラホールディングス株式会社 サツドラ恵庭新町店
- ・株式会社北海道シルバーサービス
- ・DCM 株式会社 DCM 千歳北店
- ・株式会社 元気な介護 くらしさ千歳
- ・株式会社チヨダ シュープラザ アクロスプラザ恵庭店
- ・千歳公共職業安定所
- ・株式会社 しまむら アベイル千歳店
- ・株式会社 無印良品

(2) 就労者・就労希望者の集いの開催（感染症の状況を鑑み判断）

一般就労された方の職場での辛さや困りごとの解決方法や就労を希望されている方の一般就労に関する不安や心配ごとを障がいのある当事者同士が共に学び解決や克服を図ることを目的として実施。

3. 委託作業の斡旋・マッチング

地域の就労系福祉事業所に対し一般企業や農業者からの委託業務の斡旋をおこなう。

- (1) 一般企業からの施設外就労・支援や職場実習の斡旋。
- (2) 農業者、農業団体企業との農福連携の推進と関係性の持続と開拓。

#### 4. 就労推進員の職業能力の向上

就労推進員が「千歳市障がい者就労支援事業業務」において質の高い支援が提供できるよう、知識や技能など職業能力の向上に努める。

- (1) 精神・発達障がい者の理解や就労支援に関する事柄について
- (2) 農福連携も含め施設外就労・支援に係る事柄について
- (3) 職業リハビリテーションや自立支援給付に関する事項について
- (4) 社会保障制度(社会保険・労働保険)に関する事項について
- (5) 職業活動接遇に関わる事項について

### III. 千歳市障がい者地域自立支援協議会 はたらく部会の運営

#### 1. はたらく部会の運営

(1) 定例会の企画・準備・招集・記録など事務局として運営をおこなう。

(2) 地域資源を活かす農福連携推事業の推進。

農業者や農業団体企業、また道や各市町村の農福連携推進機関との連携を強化し事業の継続と開拓を行う。また地域資源を活かせる6次産業化の実現に向けでの取り組みを開始し農業と福祉間で通年での作業機会の創出を図る。

#### 2. 千歳市就労系福祉事業所合同説明会の開催（年1回以上）

障がいのある方に働くことの意識啓発を図り、高等支援学校や養護学校の生徒、地域にお住まいの障がいのある方やそのご家族などに地域の就労系福祉事業の存在と活動内容を継続的に発信することや当該者に必要とする支援や最適なサービスに繋げることを目的に実施する。

#### 3. 視察研修の実施（年1～2回）

就労系福祉事業所、デイケア、自立訓練施設の支援に関わる職員の支援力向上を目的とする研修の実施や農福連携など施設外就労に係る研修の実施を行う。

令和8年1月20日

就労推進室 やませみ

## 千歳市障がい者地域生活支援拠点等について

### 1 地域生活支援拠点等とは

障がいのある人の高齢化・重度化や「親亡き後」に備えるとともに、入所施設や精神科病院からの地域移行、親元からの自立を進めるために、地域に整備する体制

### 2 令和7年度実績報告

(1) 拠点機能事業所について(令和8年3月31日時点)

種類	機能の概要	登録事業所
①居住支援機能	住まいの場を提供する機能	委託相談(2件)、計画相談支援、共同生活援助(12件)
②相談支援機能	緊急時に必要なサービスの調整や相談その他必要な支援を行う機能	計画相談支援(4件)、障害児相談支援(3件)
③体験の機会・場の提供	障害福祉サービスの利用やGHの体験の機会・場を提供する機能	指定障害福祉サービス等(28件)
④緊急時の受入れ・対応	緊急時の受入れや対応を行う機能	指定障害福祉サービス等(28件)
⑤専門性の確保	助言・指導、研修の実施などにより、地域の専門的人材の確保・養成を図る機能	保健福祉部主幹(基幹相談支援担当)、機能強化事業受託者、基幹相談支援センター、協議会
⑥地域の体制づくり	様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能	基幹相談支援センター(拠点コーディネーター1名)、計画相談支援(5件)、障害児相談支援(4件)

(2) 緊急時の受入れ・対応事業補助金

①緊急時の受入れ・対応事業補助金とは

在宅で生活している障がいのある人が、介護者の急病など、一時的に在宅生活に困難が生じ、短期入所などの障害福祉サービスの利用ができないときに、拠点機能事業所であるGHが空室を利用して一時的な宿泊場所の提供を行った場合、又は拠点機能事業所が当該GHへ見守り職員の派遣を行い、必要な支援を行った場合に市が交付する補助金

- ②令和7年度補助実績（令和7年8月1日～令和8年3月31日）  
1件（対象者1名）

### 3 令和8年度事業計画

(1) 拠点機能事業所の拡大

- ①GHをはじめとする障害福祉サービス事業所等に対する登録の呼びかけ  
令和8年度千歳市緊急時の受入れ・対応事業補助金単価表

- ②「専門性の確保」機能に介護人材確保・育成・定着促進事業受託者を位置付け

(2) 緊急時の受入れ・対応機能の事前登録支援（地域生活専門部会）

(3) 地域課題の抽出を通じた地域の体制づくりの強化（相談支援専門部会）

※拠点機能事業所への登録方法については市HPをご確認ください。

<https://www.city.chitose.lg.jp/c30/1002681/1005871.html>



## 令和8年度千歳市緊急時の受入れ・対応事業補助金単価表

区分	要件等	補助基準額	対象サービス
ア-1 居室提供・見守り職員の配置【基本単価】	共同生活援助の空室において一時的な宿泊を提供、 <u>見守り職員1名以上を配置し支援を行った場合</u> ※見守り職員は、利用者の状況に応じて、当該共同生活援助の人員配置基準を下回らない範囲で当該共同生活援助の職種と兼務可能 ※夜間及び深夜の時間帯の配置については、利用者の状況に応じて、必要な防災体制又は常時の連絡体制を確保している場合も含む	1日9,230円 ※7日まで。やむを得ない事情がある場合は14日まで。	共同生活援助
ア-2 居室提供・見守り職員の配置【加算単価】 ①基礎 ②重度障がい者 ③食事提供加算 ④緊急短期入所受入加算 ⑤送迎加算	①要件なし ②医療的ケア者、重症心身障がい者、強度行動障がい者を受け入れた場合 ③食事を提供する体制があり、利用者が食事を利用した場合 ④利用開始日の前々日、前日又は当日に利用の連絡を受けて受入れを行った場合 ⑤利用者の居宅等と事業所等の間の送迎を行った場合	①1日1,000円 ②1日2,000円 ※いずれも利用開始日のみ算定できる ③1日480円 ④1日2,700円 ⑤片道1,860円	共同生活援助
イ-1 居室提供【基本単価】	共同生活援助の空室において一時的な宿泊を提供した場合	1日2,730円	共同生活援助
イ-2 居室提供【加算単価】 ①食事提供加算 ②送迎加算	①食事を提供する体制があり、利用者が食事を利用した場合 ②利用者の居宅等と事業所等の間の送迎を行った場合	①1日480円 ②片道1,860円	共同生活援助
ウ 見守り職員の派遣	ア又はイの利用者であって、居宅介護及び重度訪問介護等の障害福祉サービスの併用が困難であると認められる者に、見守り職員1名を派遣し支援を行った場合 ①日中(8:00~18:00) ②夜間(18:00~22:00)・早朝(6:00~8:00) ③深夜(22:00~6:00)	①1時間1,720円 ②1時間2,150円 ③1時間2,580円 ※30分未満は0.25時間、30分以上1時間未満は0.5時間とする	指定障害福祉サービス事業者、指定障害者支援施設、指定一般相談支援事業者、指定特定相談支援事業者

※ア及びイにおける家賃、食材料費、光熱水費、日用品費、その他の日常生活費(以下「日常生活費等」という。)は、利用者へ請求することができます。その場合は、予め利用者に対してサービス内容及び費用について説明し、同意を得て、徴収後に利用者に対して領収証を発行してください。

※利用者の障害福祉サービス等に係る負担上限月額が0円となる場合のほか、日常生活費等の徴収により生活保護を要する場合、り災その他特別な事情により著しく生計が悪化している場合、その他徴収が著しく困難であると市長が認めた場合は、日常生活費等に相当する補助金を市へ請求することができます。

※補助金の算定対象日数には受入れ開始日及び終了日の両方を含みます。

※時間数は、30分未満を0.25時間、30分以上1時間未満を0.5時間として計算します。

※算出された補助金の額に10円未満の端数が生じた場合は切り捨てます。

相談支援専門部会 構成機関案

No	種別	機関名
1	委託相談 特定相談	千歳地域生活支援センター
2	委託相談	千歳市障がい者総合支援センターChip
<b>3</b>	<b>特定相談</b>	<b>市内指定特定相談支援事業者</b>
4	障がい児	千歳市こども相談支援室あーち
5	高齢者	千歳市地域包括支援センター
6	広域相談	北海道広域相談支援体制整備事業受託者
7	医療	医療法人資生会 千歳病院 地域連携室
8	医療	医療法人社団いずみ会 北星病院 地域連携室
9	医療	市立千歳市民病院 地域医療連携課
10	医療	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院 地域連携室
11	医療	社会医療法人社団三草会 千歳桂病院 地域医療連携室

部会長：千歳地域生活支援センター センター長 奥貫 あい子

副部会長：計画相談つむぎ 管理者・相談支援専門員 横山 真紀

事務局：千歳市障がい者基幹相談支援センター

事務局補佐：千歳市障がい者総合支援センターChip、千歳市保健福祉部主幹（基幹相談支援担当）、  
基幹相談支援センター機能強化事業受託者

## 「にも包括」検討会議の発足

### 1 位置付け

千歳市障がい者地域自立支援協議会の協力組織

### 2 設置目的

精神障がいのある人や精神保健に課題を抱える人(日常生活を送る上で心の不調やストレス、社会的な孤立など、メンタルヘルス面で生きづらさを感じており、支援が必要な状態にある人)に対する地域の支援体制を包括的に整備するため、関係機関等の現場担当者が情報交換、意見交換等を行い、連携の緊密化を図る。

### 3 会議構成

分野	機関名	参加者の職種	氏名
医療	医療法人資生会 千歳病院	看護師	如澤 学
	訪問看護ステーション プレモ	看護師	結城 可奈英
保健	石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室	保健師	大水 賢憲
	千歳市保健福祉部健康づくり課	保健師	花田 知佳子
福祉	千歳市保健福祉部主幹 (基幹相談支援担当)	保健師	小島 登美子
	千歳市障がい者地域自立支援協議会 相談支援専門部会	相談支援専門員	奥貫 あい子 横山 真紀 米澤 緒子 中村 友里 相澤 けい
	千歳市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	北村 昌寛
住まい	千歳市建設部建築政策課	居住支援協議会事務局担当者	浦川 賢汰
就労	就労推進室やませみ	ジョブコーチ	野田 雅裕
地域交流	千歳市民生委員児童委員連絡協議会	民生委員児童委員	大崎 誠
	千歳地域生活支援センター	ピアサポーター	村上 容織美

※議題等に応じて、その他の関係機関等にも参加を依頼する場合がある。

### 4 事務局

千歳市障がい者基幹相談支援センター

※会議の運営は、千歳市保健福祉部主幹(基幹相談支援担当)、千歳地域生活支援センターが補佐する。

### 5 開催頻度

年2回程度

# 千歳市福祉のしごと相談支援窓口 ちとせケアここ

## 無料職業紹介事業

求職者が長期的に介護職や福祉職として就労できるように、就職先との適切なマッチング、就職前後のキャリアコンサルティングなどを実施します。

## 就職説明会・相談会

介護や障がい福祉サービス事業所向けの就職相談会・相談会を実施し、求職者と事業者のマッチングを行います。

## 求職者向け事業所紹介事業

働く人に向けて、市内事業所の紹介ページをWEB上の専用ページに掲載します。ご自身が希望する就業条件から事業所を調べることができます。

## 資格取得支援

下の研修を無料で開催します。

※ 初任者研修はテキスト代を除きます。

- 介護職員初任者研修
- 介護支援専門員実務研修受験対策試験対策講座
- 介護福祉士受験対策講座

## 職場環境改善等研修

事業者向けに採用力向上や職場環境の改善、ハラスメントに関する知識向上などを目的としたセミナーを開催します。

## 介護職・福祉職の相談支援窓口

「福祉のしごと相談支援窓口 ちとせケアここ」を設置し、事業者や市民の方に対して相談支援を行います。

## 介護のしごと魅力アップ推進事業

- 介護グランプリなどイベントの開催  
介護職員が知識・経験・技術で競い合い、介護の総合力を高める介護クイズ王決定戦などを行い、介護の魅力を発信します。
- 学校訪問  
教育機関からの依頼に応じ、小中学生を対象に医療・介護・福祉に関する特別授業を実施し、介護の仕事などの魅力を発信するほか、車いす体験などを通じて高齢者や障がい者に対する理解を深めます

## 外国人介護人材の受け入れ支援

外国人介護人材の活用について、研修やセミナーを実施するほか、事業者に対して採用等についての助言支援を行います。

## 合同入職式の開催

介護や障がい福祉サービス等の福祉に携わる新規採用職員のモチベーション向上及び地域全体で人材を歓迎し、職場定着を図ることを目的として、合同入職式を開催します。

## 外国人労働者の居場所づくり

介護事業所等で働く外国人を対象に交流会を開催します。また、困りごとや悩みなどの相談を受け付け、必要な支援を行います。

## 介護DXの推進

介護事業所等において介護ロボットやICT機器の導入を促進するため、展示会や研修会を実施します。

※ 事業内容などは変更になる場合があります。詳細は、ケアここ窓口へお問い合わせください。

<事業受託>

NPO 法人ちとせの介護医療連携の会

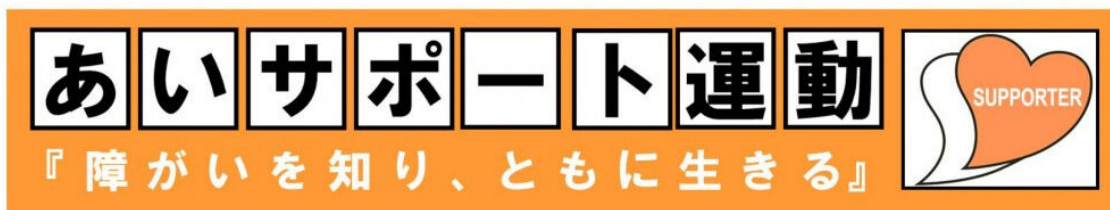
☎0123-49-3330

〒066-0042 千歳市東雲町1丁目11番地

58 ページ



## あいサポート運動の導入について



### 1 あいサポート運動とは

様々な障がい特性を理解し、サポートのノウハウを学ぶことで、障がいのある人に温かく接するとともに障がいのある人が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていく運動です。

この運動は、平成21年11月に鳥取県でスタートし、全国的に広がりを見せており（9県19市6町で実施）、北海道では、登別市と苫小牧市が導入しています。

### 2 あいサポーター・メッセンジャーとは

あいサポート運動を実践していく人を「あいサポーター」といい、あいサポーターになるには、あいサポーター研修に参加する必要があります。研修終了後に、あいサポーターの証である「あいサポートバッジ」を交付します。

企業・団体等の職員研修として受講していただいた場合は、あいサポート運動認定企業・団体として、千歳市オリジナルのステッカーの交付も予定しています。



また、あいサポーター研修の講師役をする人を「あいサポートメッセンジャー」といい、メッセンジャーになるには、「メッセンジャー養成研修」を受講する必要があります。

### 3 令和8年度の活動予定

日時	内容
7月7日（火）午前	鳥取県職員によるメッセンジャー養成研修 ※対象：自立支援協議会関係機関
7月7日（火）午後	鳥取県との協定締結式
8月28日（金） 午前・午後・夜間の3部制	あいサポーター研修
随時	あいサポーター研修の出前講座

※各研修等の受講申し込みについては別途ご案内いたします。

事務連絡  
令和8年5月7日

関係各位

千歳市保健福祉部障がい者支援課長

千歳市日常生活用具給付事業の改正内容について（お知らせ）

日ごろから各般にわたり格別のご高配をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年9月に実施した日常生活用具給付事業に係るアンケートの調査結果を踏まえ、次のとおり「千歳市日常生活用具給付事業実施要綱」を改正しましたので、お知らせします。

改正内容の詳細や申請方法につきましては、担当（障がい者支援課自立支援係）までお問い合わせください。

種目	改正前	改正後
電磁調理器	視覚障害2級以上（ <u>視覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯</u> ）及び児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害児・者として判定された者で、障害の程度が重度又は最重度である18歳以上の者	視覚障害2級以上及び児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害児・者として判定された者で、障害の程度が重度又は最重度である18歳以上の者 ⇒下線部の給付要件を削除し、視覚障害者のみの世帯以外も給付可とした。
視覚障害者用音声式体温計	視覚障害2級以上（ <u>視覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯</u> ）	視覚障害2級以上の身体障害児者 ⇒下線部の給付要件を削除し、視覚障害者のみの世帯以外も給付可とした。
視覚障害者用体重計	視覚障害2級以上の身体障害児者（ <u>視覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯</u> ）	視覚障害2級以上の身体障害児者 ⇒下線部の給付要件を削除し、視覚障害者のみの世帯以外も給付可とした。
視覚障害者用血圧計	視覚障害2級以上（ <u>視覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯</u> ）	視覚障害2級以上の身体障害児者 ⇒下線部の給付要件を削除し、視覚障害者のみの世帯以外も給付可とした。
視覚障害者用拡大読書器	基準額：198,000円	基準額：250,000円
聴覚障害者用屋内信号装置	聴覚障害2級（ <u>聴覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で日常生活上必要と認められる世帯</u> ）	聴覚障害2級の身体障害児者 ⇒下線部の給付要件を削除し、聴覚障害者のみの世帯以外も給付可とした。
情報・通信支援用具	基準額：100,000円	基準額：200,000円

施行年月日：令和8年4月1日

（お問合せ先）

〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地  
千歳市保健福祉部障がい者自立支援係 担当：西島  
電話番号 0123-24-0327（直通）  
FAX番号 0123-23-6700  
メール shogaishien@city.chitose.lg.jp

千歳市障がい者計画・第8期千歳市障がい福祉計画・第4期千歳市障がい  
児福祉計画の策定

1 現行の計画について（計画期間：令和6年度～令和8年度）

(1) 千歳市障がい者計画

根拠法令：障害者基本法

(2) 千歳市障がい福祉計画

根拠法令：障害者総合支援法

(3) 千歳市障がい児福祉計画

根拠法令：児童福祉法

2 計画策定に当たって

(1) 計画の名称

- ・千歳市障がい者計画
- ・第8期千歳市障がい福祉計画
- ・第4期千歳市障がい児福祉計画

(2) 計画の期間

令和9年度から令和11年度まで

<参考-計画の期間>

	計画名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
国	障害者基本計画	第4次		第5次(R5～R9)						
北海道	障がい者基本計画	第2期		第1期ほっかいどう障がい福祉プラン (R6～R11)						
	障がい福祉計画	第6期								
千歳市	総合計画	第7期(R3～R12)								
	地域福祉計画	第4期			第5期(R7～R11)					
	障がい者計画	障がい者計画			障がい者計画			障がい者計画 (R9～R11)		
	障がい福祉計画	第6期			第7期			第8期(R9～R11)		
	障がい児福祉計画	第2期			第3期			第4期(R9～R11)		

### (3) 計画の位置づけ

- ①「千歳市障がい者計画」は、障害者基本法第11条第3項に定める障がい者のための施策に関する基本的な計画とする。
- ②「第8期千歳市障がい福祉計画」は、障害者総合支援法第88条第1項に定める障害福祉サービスの提供体制の確保と法に基づく業務の円滑な実施に関する計画とする。
- ③「第4期千歳市障がい児福祉計画」は、児童福祉法第33条の20に定める障害児通所支援及び障害児相談支援の提供体制の確保と障害児通所支援等の円滑な実施に関する計画とする。
- ④障がい者計画は、保健・福祉・医療・教育・雇用など、個々人のライフステージに応じて各分野にまたがる障がい福祉に関する諸施策を体系化し、障がい者施策の総合的な展開に、全庁を挙げて取り組むための指針とする。
- ⑤障がい福祉計画及び障がい児福祉計画は、障がい者計画に包含されるもので、障がい者計画のうち「生活支援」や「発達支援」などに係る施策の実施計画として位置付ける。
- ⑥上記3計画は、「千歳市第7期総合計画」における障がい福祉に関する個別計画として位置付ける。

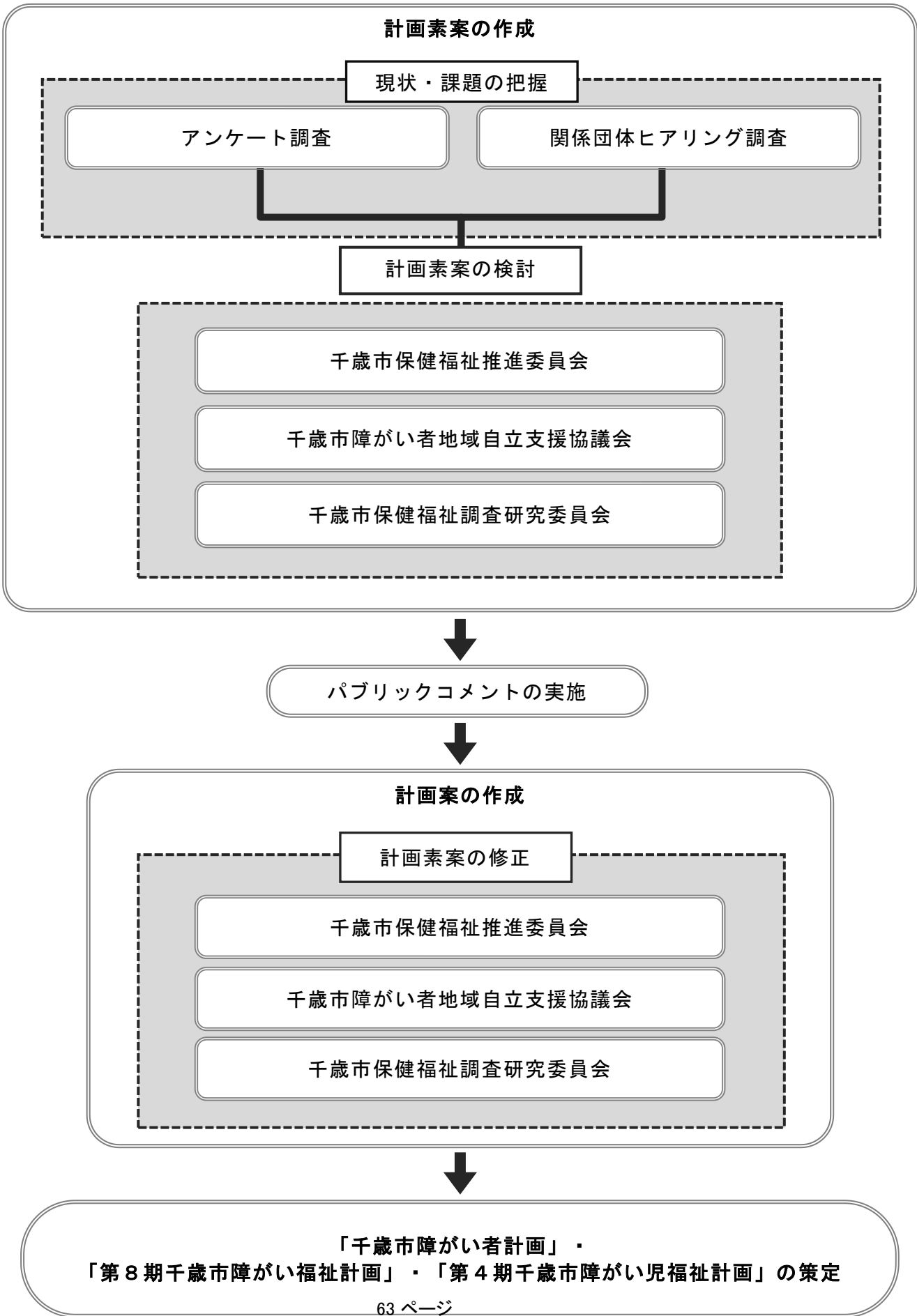
### (4) 計画策定に当たって考慮する点

- ①国・北海道における諸計画及び千歳市第7期総合計画、地域福祉計画その他の障がい者（児）に関する計画との整合に配慮し策定する。
- ②障がい者計画に掲げる施策は幅が広く、全庁的な視点が必要なことから、関係部局と連携しながら策定する。
- ③市民等の意見を計画に反映させるため、アンケート調査やヒアリング、関係機関・団体等との意見交換会、パブリックコメントなどの措置を講ずるものとする。
- ④3計画は互いに調和のとれた計画とする。
- ⑤障がい福祉計画及び障がい児福祉計画は国から示される基本指針に即して策定する。
- ⑥SDGsを推進するため、計画に掲げる各施策とSDGsとの関連性を明示する。

## 3 計画策定の体系

別紙1のとおり

<計画策定の流れ>



令和8年度 千歳市の障がい福祉予算額について

- (1) 障害福祉費予算額 4,059,889千円 (前年度比109.5%)  
 (2) 児童福祉総務費(障がい児支援分)予算額 926,808千円 (前年度比105.5%)  
 (3) 保健衛生総務費(障がい福祉関連分)予算額 264千円 (前年度比100.0%)

合計 4,986,961千円(前年度比108.7%)

事業名	予算額 (千円)	前年度比 (%)
<b>(1) 障害福祉費</b>	<b>4,059,889</b>	<b>109.5%</b>
自立支援給付事業費	3,643,095	109.6%
特別障害者手当等支給事業費	36,031	109.2%
地域生活支援事業費	85,785	109.4%
精神障害者社会復帰施設等通所交通費助成事業費	646	104.3%
日常生活支援サービス事業費	3,763	98.0%
緊急通報システム整備事業費	261	103.5%
障害者福祉サービス利用券助成事業費	44,947	99.5%
施設面会旅費助成事業費	322	100.6%
施設整備費補助事業費	274	71.7%
団体運営費等補助事業費	369	91.5%
障害福祉事務経費	3,580	98.3%
障がい者計画・障がい福祉計画推進経費	25	100.0%
障がい者計画・障がい福祉計画策定経費	7,953	新規
障害支援区分認定等事業費	3,076	96.9%
障がい者就労支援事業費	21,507	124.6%
重度心身障害者医療費助成事業費	140,117	100.3%
軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業費	572	116.4%
障害者住宅改修資金助成事業費	300	100.0%
障がい者医療的ケア支援事業費	1,555	100.0%
重層的支援体制整備事業(地域生活支援事業)	63,644	111.6%
介護人材確保・育成・定着促進事業費	2,067	新規
<b>(2) 児童福祉総務費(障がい児支援分)</b>	<b>926,808</b>	<b>105.5%</b>
早期療育事業費	9,034	114.0%
障害児給付事業費	914,063	105.2%
義務教育終了者機能訓練業務経費	12	40.0%
巡回支援事業費	12	40.0%
医療的ケア児支援事業費	3,687	186.1%
<b>(3) 保健衛生総務費(障がい福祉関連分)</b>	<b>264</b>	<b>100.0%</b>
小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費	174	100.0%
北海道難病連助成事業費	90	100.0%